

地方史情報 143

2020年5月

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	神奈川県	27	奈良県	50
青森県	3	新潟県	32	和歌山県	51
宮城県	4	長野県	34	島根県	51
秋田県	5	岐阜県	38	岡山県	52
山形県	7	静岡県	38	広島県	53
福島県	7	愛知県	39	山口県	54
茨城県	7	三重県	40	愛媛県	55
栃木県	9	滋賀県	41	長崎県	56
群馬県	10	京都府	42	宮崎県	57
千葉県	11	大阪府	43	沖縄県	57
東京都	16	兵庫県	48	寄贈図書	58

北海道

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 コーポ望 TEL011-299-6834
年5000円

◇75 2019.10 B5 12p

二至二分の日の日の出・日の入りの位置に基づく神話的地名命名

確率論的に偶然とは言えないポロ地名の配置

中野 良宣

札幌という地名の語源とその解釈

山下 栄光

アイヌ語地名の講座が多数開催された

渡辺隆・記

アイヌ語地名探訪(平取)終る 7月20日(土)

図書紹介 『フチの伝えるところ アイヌの女の四季』 THE SPIRIT

of HUCI For Seasons of an Ainu Women 計良智子・著 吉田

三千代・翻訳

渡辺隆・記

◆浦幌町立博物館だより

〒089-5614十勝郡浦幌町桜町16-1 TEL015-576-2009 2000年創刊

https://www.urahoro.jp/chosya_shisetsu/kokyorio/museum/

◇4月号 2019.4 A4 2p

上厚内駅回顧展…思い出や写真、全国から

SNSで資料名調査／十勝にとっての尺別・直別

持田 誠

◇5月号 2019.5 A4 2p

文化をつなぐミュージアム：伝統を未来へ

持田 誠

◇6月号 2019.6 A4 2p

浦幌開町120年、博物館でできて50年

持田 誠

◇7月号 2019.7 A4 2p

神々の国に銀に変わる木 ミズキ

持田 誠

◇8月号 2019.8 A4 2p

♪笹の葉さらさら…？ 笹の無い森

持田 誠

◇9月号 2019.9 A4 2p

埋蔵文化財のアイヌ遺骨を地域返還

持田 誠

◇10月号 2019.10 A4 2p

学芸職員部会の仲間たち

持田 誠

◇11月号 2019.11 A4 2p

厚内幼稚園の資料を収集

持田 誠

◇12月号 2019.12 A4 2p

いま、なぜキリスト教会の展示なのか？ 企画展「信仰の灯は永遠に

：福音ルーテル池田教会と吉田康登牧師の足跡」の開催にあたって

持田 誠

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11 TEL011-761-8014

年3000円 1985年創刊 <https://tonden.org/>

◇66 2019.10 B5 80p 1000円

表紙絵図 『ヲロシア船渡来風説書』（文化元＝1804年、北海道立図書館所蔵）より

館所蔵）より

巻頭言 時代の背景

後藤 良二

子思孫尊 新琴似兵村の変容を現地調査

茨城大学教育学部研究グループ

編集部

北海道における紋羽(上)ー屯田兵作業衣にも使われた幻の木綿織物

北岡 真幸

歴史探訪 屯田兵制度の創設に関わった人物の生誕地を訪ねて

武石 詔吾

札幌の屯田兵と戦死者慰霊	田澤 道雄
屯田兵ルーツ情報 収集資料から／消息情報	
屯田兵のデザイン考 屯田兵こけし(個人蔵)	
軍紀厳しく 馬鈴薯畑に鬼軍曹	
古地図の散歩道 樺太州南海岸母子泊魯西亞人住地之圖	
明治7(1874)年・林頭三『北海紀行 附録』	
迫るロシアの軍事拠点を踏査	宮内 隆一
古文書録 北海紀行 明治7年刊 著者・林頭三 発行・如蘭堂	
兵村歳時記ー『三澤日記』に見る四季折々	梶田 博昭
謎の人物・西郷従道の生き方を探る	北国 諒星

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階
TEL011-271-4220 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇376 2019.11 A4 8p

炭鉄港・日本遺産に認定 住友奔別炭鉱立杭槽	宮本 哲也
道文化財保護功労賞 1個人4団体 尾崎和勇氏(岩見沢市)／特定非営利活動法人 さっぽろ時計台の会／十勝の自然史研究会／阿寒アイヌ民族文化保存会／白糠駒踊り保存会	
道外文化財めぐり 依田勉三生家と東静岡訪ねて	
参加者の声 旧依田邸を訪ねて	佐藤 璋子
『徳川家康黒印の制書』と舟山前理事長	野村 武雄
シリーズ・伝える 若い力で地域を元気に一羅臼高校生の挑戦	進藤 祐香
ことはじめ 札幌遠友塾ー基礎教育の文化を受け継ぐ	遠藤知恵子
文化財 NOW(2) 道庁赤れんが庁舎一時休館 半世紀ぶり大改修	
博物館ひろば 士別市の魅力を発信する 地域の博物館としての役割	
	中村 圭佑

青 森 県

◆八戸地域史 八戸歴史研究会(発行:伊吉書院)

〒039-1164八戸市下長2-7-19 三浦忠司方 TEL0178-38-7376 1982年創刊

◇56 2019.10 A5 56p 800円

口絵 七崎屋半兵衛発行の藩札(預切手)	
八戸藩目付所日記に表れた農民の欠落、出奔について	松ヶ崎憲治
羽仁もと子フランク・ロイド・ライトの対話@天国	

一「民主主義の理想」を求めて	田代 優子
八戸・金子安兵衛商店寄贈の古銭の考察	志田 貢
みじか史 会津の良寛様	大岡 達夫
書 評	
酒井久男著『八戸南部藩用語辞典』	斎藤 潔
三浦忠司著『城下町南部八戸の歴史』	佐藤 孝之

◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会

〒036-8560弘前市文京町1 弘前大学人文学部日本史研究室内 1956年創刊

◇147 2019.10 B5 32p

弘前藩における雅楽の変遷	山田 淳平
書評 浪川健治編『明君の時代—十八世紀中期～十九世紀の藩主と藩政』	金森 正也
書評と紹介	
小瑤史朗・篠塚明彦編著『教科書と一緒に読む 津軽の歴史』	竹村 俊哉
施設紹介 高岡の森弘前藩歴史館の開館	鶴巻 秀樹

宮 城 県

◆歴史 東北史学会

〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学大学院文学研究科 日本史研究室

Tel.022-217-6064 年4000円 1949年創刊

<http://www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/>

◇133 2019.10 A5 91+27p 2100円

イエズス会の日本「武力征服論」について	
一高瀬・平川研究の批判的検討	朴 慶洙
「国産」政策の「御救」機能—八戸南部家の場合	鈴木 淳世
東廻り航路における出羽国城米輸送の成立	井上 拓巳
書 評	
今泉隆雄著『古代国家の地方支配と東北』	武井 紀子
鈴木琢郎著『日本古代の大臣制』	遠藤みどり
栗原伸一郎著『戊辰戦争と「奥羽越」列藩同盟』	天野 真志
紹 介	
大川史織編『マーシャル、父の戦場 ある日本兵の日記をめぐる歴史実践』	佐藤 大介
友田昌宏著『東北の幕末維新 米沢藩士の情報・交流・思想』	栗原伸一郎

秋 田 県

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会

〒011-0909秋田市寺内兎桜1-5-55 古四王神社社務所内 TEL018-845-0333

1981年創刊 <http://w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html>

◇93 2019.12 B5 16p

足跡探訪会講話 真澄と大石家

大石 淳

報告 足跡探訪会「菅江真澄 終焉の地を訪ねて」

研究発表「真澄の道標柱・棟札そしてアオヤジロ」

佐藤 隆造

連載 真澄の一枚(25) 籠提灯

『粉本稿』より(大館市立栗盛記念図書館提供)

菊地 利雄

池内紀氏を悼む―未完となった「菅江真澄 旅の伝記」

永井登志樹

◆鷹巣地方史研究 鷹巣地方史研究会

〒018-3302北秋田市鷹巣町栄太田 照内喜久雄方

年2000円 1977年創刊

◇75 2019.11 A4 68p 1000円

《創立60周年記念号》

表紙 細田茂吉(1873～1914)

巻頭言 新たな地方史の創造に向けて

中嶋 俊彦

祝 辞

鷹巣地方史研究発刊七十五号を祝して

津谷 永光

「鷹巣地方史研究会六十周年記念号」の発刊に寄せて

佐藤 昭洋

祝 辞

岩見 誠夫

鷹巣地方史研究会創立六〇周年記念式典をお祝いして

半田 和彦

特別寄稿 宮野尹賢の「宮野沢」は「西目屋村」か

千葉 克一

井上円了「北秋田地方巡回日誌」紹介

佐藤 俊晃

「鷹巣(たかのす)」地名考(付記)

永井 高道

記念講演会 藤林遺跡―昭和五十五年の調査を中心に

講師：元秋田県埋蔵文化財センター所長 高橋忠彦氏

現地研修兼歴史教室

県有形文化財 旧長岐家住宅を訪ねて

佐藤 和博

講演より 長岐家庭園に集う人びと

佐藤 俊晃

秋田県農業に機動力の導入を図った佐藤満の生涯

小塚 嘉七

男鹿脇本城跡の鬼の隠れ里探訪

桜田 俊

藤株遺跡の土偶から・世界の土偶から

澤田 昌治

さらなる活動の充実に向けて

一伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイド活動報告(5)

中嶋 俊彦

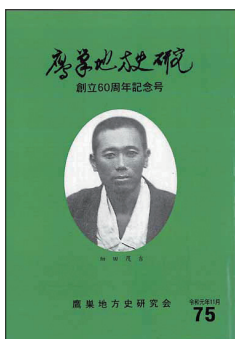
二ツ井地震地鳴りの恐怖

桜田 俊

創立六十周年式典寸描

付録 『鷹巣地方史研究』執筆者索引 第1号(昭和52年12月)～第75

号(令和元年11月) 創立60周年記念事業



*鷹巣地方史研究会は1959年に10名の会員で「史談会」として創立され、昨年61年目を迎えた。会員数はピーク時(1999年)の241名からは減少してきているが、それでも116名を擁しているから立派だ。

会誌『鷹巣地方史研究』の創刊は、1977年12月で、当時はB5判4頁の小冊子であったという。75号を重ねた本号は創立60周年記念号で、記念式典で行われた元秋田県埋蔵文化財センター所長高橋忠彦氏による記念講演会「藤株遺跡—昭和五十五年の調査を中心に」や、研究会会長中嶋俊彦氏の「さらなる活動の充実に向けて—伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイド活動報告(5)」などを掲載する。伊勢堂岱遺跡は、世界文化遺産をめざす「北海道・北東北を中心とする縄文遺跡群」の一つとして昨年度の国内推薦候補に選定され、地元の期待が高まっているもので、ジュニアボランティアガイドは、遺跡をより深く知り、遺跡を愛し、誇りをもってもらうために、後世に語り継ぐ語り部の役割を小学生から高校生に担ってもらおうとするユニークな取り組みで注目される。

別冊として、創刊号から第75号までの執筆者索引(A4判、15頁)を付す。

なお表紙の人物は細田茂吉(1873-1914)で、鷹巣町で家業の農業を営む傍ら、土壌改良、植林事業、耕地整理、「報徳思想」の普及と実践をもって農村指導に当たった。

山 形 県

◆米沢史学 米沢史学会

〒992-0025米沢市通町6-15-1 山形県立米沢女子短期大学日本史学科内
TEL0238-22-7330

◇35 2019.10 B5 162p

明治前期の山形県における遊郭の展開と米沢

一川井小路町貸座敷車楼を中心として

加藤 晴美

上杉謙信の祭祀の転換―御堂から上杉神社へ

加澤 昌人

虚空蔵大台滝遺跡の「銅製品小塔」小考

一銭弘俣塔相輪の可能性について

山口 博之

戦時下、育英事業団体の合同問題における定款改正の意義と米沢武官

養成会の主導的役割について

布施 賢治

中世村落における生活規制について

蘭部 寿樹

史料紹介 『看聞日記』現代語訳(16)

蘭部 寿樹

福 島 県

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

〒960-8116福島市春日町5-54 TEL024-534-9193 2002年創刊
<http://www.history.fcp.or.jp>

◇55 2019.10 A4 4p

庶民が語った長岡藩士の死と戊辰戦争の実情 明治2年(1869)11月

口上覚(長岡様御藩高橋甫閑様顚末)(部分、酒井一家文書500)

小野孝太郎

塙地代官秦治右衛門尉後家の在地支配

渡邊 智裕

酒づくりの「秘法」

山田 英明

板倉家の国替と重原藩成立を支えた人々

小野孝太郎

城下町会津若松市の市制施行運動

山田 英明

新発見の白水阿弥陀堂の古写真について

渡邊 智裕

茨 城 県

◆茨城の民俗 茨城民俗学会

〒310-0036水戸市新荘2-8-16 今瀬文也方 TEL029-350-3310
年3000円 1963年創刊 <http://www.minzoku.net>

◇58 2019.11 B5 126p

《特集 平成》

茨城の「むかし」—語り継がれた昭和から再生の平成

平成の家庭菜園(1)

東日本大震災

平成に起きた大地震と原子力発電事故

コンピュータ通信や携帯電話などの進化

阪神・淡路大震災を教訓に—私の平成時代

信仰的行事の衰退時代

すみつかれと小池夫妻との出会い

平成の天皇・皇后

茨城における浜降り祭の起源(2)

『常陸国風土記』における「許呂」について

龍ヶ崎市の初山参り

龍ヶ崎市八代町富士神社の初山参り(子供の成長祈願)

茨城のまつり見聞録(3)

介護民俗学へのこころみ

悠久の館山七ヶ寺(ひたちなか市那珂湊地区)

近世の土浦祇園祭における「大祭」

敬語表現から見る『歎異抄』

第五回歩く会〈「岩間」の歴史・文化を歩く〉

第五十九号 特集「老人」予告

鶴尾 能子

久家けい子

濱田 憲一

照山 洋

飯村 保

檜村 弘明

大森 政美

古山 菜摘

松崎健一郎

黒澤 雅博

久保 衆伍

石本 敏也

近江 礼子

長江 慶治

清水 亨桐

鶴田 廣一

萩谷 良太

松崎健一郎

報告・松崎健一郎

松崎健一郎

◆近代史料研究 日本近代史研究会

〒305-8571つくば市天王台1-1-1 筑波大学歴史人類学系 中野目研究室内

TEL029-853-4066 2001年創刊

◇19 2019.10 A5 73p

最上家所蔵「長清会大宮遊図巻」の紹介

中野目 徹

「松永聴剣関係文書」の整理とその全体像

中野目徹／田中友香里

近代日本の「国益」の変質と多様化

—一九〇五～一九二〇年における日本外務省の対応を通じて

熊本 史雄

翻刻 『押切帳』第二冊～第六冊—『押切帳』考証補遺

大沼 宜規

◆史 境 歴史人類学会

〒305-8571つくば市天王台1-1-1 筑波大学人文社会系内

TEL029-853-4047/4403 1980年創刊

◇77・78 2019.9 A5 169p 4000円

講演 奥三河の民俗と宗教文化―花祭り研究のよせて	西海 賢二
平安初期における家集の歴史性―『菅家文草』の政治史的位置づけ	長谷部将司
『武徳大成記』の編纂と徳川史観	平野 仁也
中国江南地域社会と合作社の組織化―南京国民政府期、一九三〇年代 の江蘇省・丹陽県の事例を中心として	澎 高明
一九八九年パリ万国博覧会のベリーダンス (la danse du ventre) ―新しい身体と動きの披露	木原 悠
昭和一五年度の宿帳に見る戦時中に出雲大社参詣	原 遼平
近世民間宗教者に由来する系譜関係の実践と所在 ―新興の天台宗玄清法流寺院の事例から	横田 慶一
書 評	
中野目徹著『近代日本の思想をさぐる―研究のための15の視角』	昆野 伸幸
隋藝著『中国東北における共産党と基層民衆 1945-1951』	李 海燕
小畑紘一著『祭礼行事「柱松」の民俗学的研究』	板橋 春夫
藤原洋著『仮親子関係の民俗学的研究―筆親筆子と瀬戸内島嶼社会 の家族誌』	大野 啓

◆水戸史学 水戸史学会

〒310-0852水戸市笠原町979-42 但野正広方 TEL029-243-6910 1974年創刊

◇91 2019.11 A5 77p

古代史学者としての佐々宗淳

―「那須国造碑文」の「永昌」年号をめぐる	梶山 孝夫
昭和天皇と五台村	仲田 昭一
水戸城下地図に藩士を追う(6)	斎藤 郁子
生駒周蔵について	久野 勝弥
遺稿 美しき未来のために	名越 時正
『大日本史』食貨志編纂における『類従繡三代格』逸文の研究	渡邊 拓也
水戸に招かれて	村上 政俊

栃 木 県

◆歴文だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313

年4000円 1991年創刊

◇113 2019.10 A4 4p

《特集 第二九回大会報告 描かれた栃木の近代》

中西僚太郎氏記念講演「鳥瞰図絵師・松井天山の画業と画風」を聴いて	大越 惟弘
石井和帆氏報告「近現代に描かれた漁場図から読み解く民俗知識―那珂川における定地漁業を中心に―」を聴いて	木村 康夫
原田敏行氏報告「川上澄生の風景画」を聴いて	久野 華歩
中野英男氏報告「農村のくらしを描く～『渡辺清絵日記』を聴いて	篠崎 茂雄
開催中の企画展案内	
那須与一伝承館 特別企画展「大田原氏三代―資清・綱清・晴清」	重藤 智彬
大田原市黒羽芭蕉の館 令和元年度企画展「開館三十周年記念 下野路を往く松尾芭蕉」	新井 敦史
栃木県立文書館「第六回 栃木の人物展」	西村 陽子

群馬県

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会

〒371-0801前橋市文京町3-27-26 群馬県立文書館内 Tel027-226-6246

1993年創刊 <http://www.asahi-p.co.jp>

◇53 2019.10 AB 36p]

《昭和村地域特集》

歴史を掘る 神田・三本木古墳群六反支群出土の人物埴輪 文挾健太郎

群馬の地域文化を学んで 高山 真光

石川薫記念地域文化賞受賞者特別講座(3)要旨

古墳時代研究から探る〈群馬のルーツ〉 深澤 敦仁

発掘情報 糸井太夫遺跡について 石北 直樹

図録ぐんま文化財 昭和村の文化財 石北 直樹

ぐんまの歴史入門講座

第203講 昭和村の古墳について 諸田 康成

第204講 戦国大名から地衆への手紙 諸田 義行

第205講 中近世の森下宿と交通路 須藤 聡

第206講 利根川最初の水力発電所永井沢発電所 倉澤 俊雄

第207講 昭和村の石造文化財 石造文化財の見方(42) 秋池 武

古文書解読入門講座(40)―古文書から歴史を読む 深刻だった江戸時

代の秣場確保―前橋藩領と沼田藩領の紛争から 藤井 茂樹

地域づくりと文化遺産 河岸段丘ハーフマラソン 昭和村役場企画課

ぐんまの地方豪族 戦国時代の昭和村と長慶寺糸井九騎 堤 義樹

ぐんまの人物誌 江戸時代後期の行脚俳人 甫天喜・久呂保山人 島田 民夫

ぐんまの郷土芸能 永井箱根神社の太々神楽	島田 民夫
ぐんまの地名 昭和村の地名	中島 靖浩
ぐんまのくらしと民俗 百万遍(ナンマイダ)	島田 民夫
ぐんまの自然と風土 昭和村の地形	久保誠二／中島正裕

出版情報 地域の刊行物紹介 『糸之瀬村誌』、『村誌久呂保』、『中棚遺跡』—長井坂城跡、『川額軍原Ⅱ遺跡』、『糸井太夫遺跡』、『川額軍原Ⅰ遺跡』、『森下中田遺跡』、『長井坂城跡保存整備基本構想報告書』、『岩下清水古墳群』、『糸井太夫遺跡Ⅱ』 石北直樹／昭和村教委

研究・学習サークル活動紹介 昭和村ボランティアガイドの会 角田 勝美

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154前橋市天川大島町317-1 TEL027-223-2785

年4500円 1973年創刊 <http://www.l6.plala.or.jp/kuzira226/>

◇260 2019.10 A5 57p

口絵 栃木県 古峯神社	井野 修二
群馬の市街地学ハイキング(11) 藤岡市コース 藤岡市平井周辺の 地形・地質を巡る	中島啓治／矢島祐介／中村庄八
秋元氏の転封と家臣の縁	松田 猛
群馬歴史散歩クイズ三十問(2)	井野 修二
高山彦九郎日記による歴史散歩(65) 『北行日記』(24)	正田 喜久
歴史散歩 天龍峡と小京都・飯田	斎藤 孝夫
支部だより 藤岡支部 信濃一之宮・諏訪大社四社まいり	金井 正元
歴史散歩の報告(事務局企画)	
龍淵寺と熊谷寺周辺の史跡	山崎 正
新田義貞—活躍の舞台をたずねる	山崎 正
復元された郭馬出西虎口門の箕輪城と関連する寺々	山崎 正

表紙写真 藤岡大谷貯水池(三名湖) (写真提供: 中島健行)

千葉県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1132我孫子市湖北台5-15-17 岡本方 TEL04-7149-6404

<http://abikosisiken.main.jp>

◇212 (通519) 2019.10 A4 8p

講座参加記—初級古文書講座に参加されて

初級古文書講座を受講して

田村 裕司

- 初級古文書講座を受講して 飯塚 健児
 古文書解読火曜部会 10月度の活動報告 日根野眞理
 古代史研究G 10月の活動報告 「下総国戸籍 遺跡編」流山地域 中嶋 正義
 合同部会 10月の活動報告 中澤 雅夫
 参考 「資料のデジタル化について」奥村麻由美 足立区立郷土博物館
 館専門員（足立史談第620号—2019/10/15発行—より）
 ◇213（通520）2019.11 A4 16p
 歴史探訪部会 12月例会 「市川市行徳」を訪ねる
 教育委員会 木下生涯学習部長 訪問記 東 日出夫
 講演会「東我孫子の文化と歴史」に参加して 鈴木江里子
 歴史講演会「我孫子駅の歴史と飯泉喜雄」及びまち歩きに参加して 田中 康弘
 事務局便り 「ふさカリキュラム」関係資料の収集—布佐中学校より
 会誌刊行シンポジウム（意見交換会）開催 谷田部隆博
 歴史部会 10月の活動報告 逆井 萬吉
 古代史研究グループ 11月の活動報告 「於賦の『駅家』を起点に下
 総国相馬郡の官衙遺跡を考える」 報告者：宗岡恒雄 宗岡 恒雄
 古文書解読火曜部会 11月度の活動報告 金成 典知
 古文書解読日曜部会 11月の活動報告 白神 正光
 アビスタ・ストリート展示のお知らせ
 我孫子の社寺を訪ねる 社寺調査余話 「十三仏」について(1)
 渡会瑞顯編『十三仏の世界』より 中澤 雅夫
 友好団体行事のお知らせ 我孫子の景観を育てる会

◆史談八千代 八千代市郷土歴史研究会

〒276-0046八千代市大和田新田452-20 鈴木康彦方 TEL047-459-2506
 年3000円 1976年創刊

◇44 2019.11 B5 148p

《特集 旧村保品の総合研究 そのⅠ・旧村下高野の総合研究 そのⅡ》

特集 旧村保品の総合研究 そのⅠ

- 保品村の概要 菅野 貞男
 保品の古代 田中 巖
 遠山成一先生紀行文「中世の保品りゅうげ城跡」について 村田 一男
 中世の保品りゅうげ城跡 遠山 成一
 近世の保品村
 保品村の江戸初期の領主「知行宛行状」に見る 菅野 貞男
 保品村の村高・反別と年貢 斎藤 惇

保品河岸と印旛沼水運の概要	小林 詔三
神社と寺院	
保品の神社と寺院	荒川 好弘
瀬名徳順師による星埜山東栄寺の仏像調査報告について	蕨 由美
神社と寺院 保品東栄寺の仏像調査の報告	瀬名 徳順
保品のムラの行事と千葉寺十善講	畠山 隆一
保品の近代 郷土の先覚 山崎新兵衛・右源太・与作	菅原 賢男
保品の近代 保品清宮家と醤油醸造	畠山 隆一
保品の現代の産業について「訪問記」	
株式会社 元祖玉屋を訪ねて	松柴 慎吾
保品の現代の産業について「訪問記」 百年続く「小林麴味噌店」	
才藤文子／櫻井マツ子／瀬川尚子	

特集 旧村下高野の総合研究 そのⅡ

下高野の福蔵院墓地の全墓塔の調査報告について	蕨 由美
下高野の富士講資料について	蕨 由美
下高野と保品の教育	菅原 賢男
八千代の神社総覧 平成最後の集大成 市域の神社を総合調査	山口 忠
八千代の神社総覧 新川流域の水に係る神社	瀬川 尚子
八千代の古代製鉄遺跡研究	田中 巖

特集 歴史を楽しむ活動「歴史散策報告」 佐倉七福神めぐり／市民

参加の歴史散歩(下高野・先崎・青菅)／神奈川宿に幕末の諸外国公館跡と浦島伝説／大谷口歴史公園と根本内歴史公園を探访／向島界隈の歴史散歩／木下地区の史蹟をめぐる歴史散歩

山口 忠

◆紙魚之友 房総史料調査会

〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大学文学部日本史学研究室
1985年創刊

◇41 2019.11 B5 8p

二〇一九年度 第一回房総史料調査会例会報告要旨

イエール大学所蔵日本関係資料と活用への模索

竹ノ内雅人

討論要旨

大原幽学記念館史料調査参加記 第三次旭市鎗木 鎗木惇一家文書は

か史料調査

小久保乃衣美／角田くるみ／佐藤尚子

◆太平余興 太平書屋

〒270-0121流山市西初台3-1461-9-111 TEL04-7128-8626

◇5 2019.11 A5 132p

柏木如亭山水図幅紹介	池澤 一郎
柏木如亭の詩の魅力―時空を往還する筆力	池澤 一郎
弘化三年の大沼枕山	内田 賢治
安穴先生 三題	牙鳥 山人
嘉永七年(安政元年)の天候について	杉下 元明
『墨水四時雑詠』注解 第二回	停 雲 会
利根運河碑をめぐる	斎田 作楽

◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学文学部内 TEL043-251-1111

年4000円 1982年創刊 <http://chibareki.blog.fc2.com>

◇75 2019.11 A5 124p

巻頭随想 考古学と文献史学の学際的研究に思う	
一二〇一九年度古代史サマーセミナーから	天野 努
加納久宣公没後一〇〇年を迎えて	江澤 一樹
台風の後 ICOM 京都大会を振り返る	小田 真裕
房総三国の成立について	服部 雄一
鎌倉将軍府の変容―直義から尊氏へ	阪田 雄一
第一次国府台合戦再考	滝川 恒昭
大会講演 「帝紀」・「旧辞」論の再構築と東国論	吉村 武彦
研究動向 協役の歴史が欠かせない！	
「ジオパーク」という地域の楽しみ方	平田 和彦
書評 小園崇明・渡辺哲郎・和田悠編著『子どもとつくる平和の教室』	
	佐々木政文

新刊紹介

竹井英文著『戦国の城の一生 つくる・壊す・甦る』	外山 信司
地方史研究協議会編『学校資料の未来―地域資料としての保存と活用―』	石井 七海
参加記 本佐倉城跡国史跡指定二〇周年記念事業講演会に参加して	浅井 達也
見学記 特別展示『實業と美術―たば塩コレクションの軌跡―』	大高 幸
資料保存活動 台風一五号による資料被災への対応について―千葉歴史・自然資料救済ネットワークの活動に参加して	鈴木 凜
例会報告 近世史部会 3月例会 大会準備報告会	
竹中友亮「近世後期における地域社会と手習塾―下総国葛飾郡藤原新田「安川舎」を事例にして―」	竹中 友亮

◆房総古代道研究 房総古代道研究会会誌

〒290-0073市原市国分寺台中央6-12-3 山本勝彦方 FAX0436-23-1098

2016年創刊

◇3 2018.12 A4

インタビュー 『金を得し人』 上総国の丈部大麻呂について

谷島 一馬

上総の檜前舎人・上海上国造と大野馬牧

前之園亮一

古代の牧と馬

佐々木虔一

『更級日記』と平安時代の上総国いちはら

和田 律子

安房国の木簡についての再検討

亀谷 弘明

市原市本郷に存在する大羽根城の意味するもの

小高 春雄

フィールドワークをとりいれた高校日本史教育

石川 陽一

講演会記録

上総国の古墳

白井久美子

古代房総の神々

吉井 哲

更級日記の「いまたちという所」はどこか

小松 廣和

随想 大友皇子伝説

西山 勝裕

◆房総石造文化財研究会会報

〒275-0001習志野市東習志野5-30-4-404 木原律子方 TEL047-473-3540

年3000円 1980年創刊

◇143 2019.10 B5 4p

7月 勉強会の報告／9月 勉強会の報告／9月 見学会の報告 テ

ーマ「葛飾柴又の石仏を巡る」

私のテーマパーク「千葉寺」

渡邊 昌之

◆松戸史談 松戸史談会

〒270-0021松戸市小金原7-10-20 松田孝史方 TEL047-342-1764

年5000円 1961年創刊 <http://www.matsudoshidankai.net>

◇59 2019.11 B5 81p

巻頭の挨拶 市民の皆さんとともに学ぶ

松田 孝史

牧の原のかぶと公園の由来を訪ねる

青木 更吉

江戸時代の松戸地域の新田開発について

松田 孝史

徳川家康の五男「武田信吉」

塩尻 英児

吾妻婦人音楽連中の災厄（記録と複製の近代）	古木 均
経世塚	花輪 茂道
東葛の文化財と自然を守る動きを回想する	田嶋 昌治
小金城趾を歩く	荒木 知
中学校二年生の敗戦体験	塩尻 英児
臨終の科学 管見	小野塚利雄
続松飛台今昔	中山 栄造
史談会に入会し、ふるさと思う	佐藤 俊郎
玉音放送・太平洋戦争終結の日	塩尻 英児
短信 創立百年記念植樹は・もっこく(椿科)／市指定文化財 墨書土器について／紙敷の旧齋藤邸、国登録有形文化財に	
第70回文化祭風景 文化講演「村と百姓の江戸時代」 講師：一橋大学大学院社会学研究科教授 渡辺尚志氏／伝統芸能 櫻川流「江戸芸かっぱれ」	
第70回文化祭・講演 村と百姓の江戸時代(要旨)	渡辺 尚志
総会当日の講演 中国の現状について(要旨)	中山 栄造
松戸市民参加の講演会 幸谷の中世遺跡について	関山 純也
松戸史談会会員勉強会(要旨)	
松戸の辨榮上人の遺跡	村上雄一郎
俳句は楽しい(要旨)	脇坂 順雄
松戸史談会年間活動記録と参加人員	
追悼 松戸史談会元会長・現相談役 神尾武男様	松田 孝史

東 京 都

◆アーカイブ通信 ネットワーク・市民アーカイブ

〒190-0022立川市錦町3-1-28-301 TEL042-540-1663 年6000円

2014年創刊 <http://www.c-archive.jp>

◇17 2019.11 A4 8p

(公財)大阪社会運動協会 エル・ライブラリー(大阪産業労働資料館)

働く人々の今を支え歴史を未来に伝える

谷合佳代子

市民アーカイブ多摩の四季

早春 キバナセツブンソウ

邑田 仁

第5期緑蔭トーク報告

第2回 「国際NGO(市民組織)としてのグリーンピースの魅力と可能性」吉野良子さん

第3回 「砂川闘争資料の現在―〈砂川平和ひろば〉の可能性―」

- 高原太一さん (記・高原)
私と市民活動資料(13) 図書館と両輪を担いながら 山口真理子
ミニコミ紹介
仲間 仲間と共に歩む会 1982年創刊 宮川日出雄
経産省前テントひろばニュース 経産省前テントひろば 2013年創刊
大賀 英二
市民アーカイブ多摩の資料棚から(11) 十五年戦争 堀内 寛雄
記憶と記録の場をめぐる旅(14)
寿町関係資料室―横浜・ドヤ街の歴史と今を伝える 平川 千宏

◆あしなか 山村民俗の会

- 〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2 塩野谷明夫方 TEL048-465-7818
年5000円 1939年創刊 <http://www8.ocn.ne.jp/~sanmin/>
◇316 2019.10 B5 38p
《熊野信仰特集》
表紙解説 「熊野牛王神符」(熊野本宮大社) 杉崎満寿雄
民俗ボクボク歩き 東北の中の熊野信仰(遺稿) 大塚 久子
熊野新宮阿須賀神社の御正体 時枝 務
熊野へー小辺路紀行 杉崎満寿雄
熊野古道を歩く―十津川村から本宮・新宮・那智へ 佐藤 碩男
熊野権現と温泉の神々―伊豆地方における熊野信仰の伝播・その1 岡倉 捷郎
旅の草ぐさ(27) 写真に見る 東北の熊野神社 写真と文 関啓司・塩野谷明夫
山里だより(31) 熊野修験の奉納札に会う―奥武蔵・外秩父にて 荒井 俊昭

◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局

- 〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇621 2019.11 A4 4p
安住・鎮座の芭蕉翁陶像 堀川 和夫
行政文書に見る足立区の水害記録(9) 山崎 尚之
はい、文化財係です。(15) 東京9区文化財古民家めぐり 佐藤 貴浩
◇622 2019.12 A4 4p
“ねずみ”にちなむ一幅 酒井抱一の描く大黒天神鼠図 小林 優
綾瀬・吉田家文書の紹介(1) 豊富な地方文書群 多田 文夫
行政文書に見る足立区の水害記録(10) 山崎 尚之

◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇380 2019.11 A4 8p

文部科学省資料 終戦直後の日本の教育改革の原点 第二次訪日アメ

リカ教育使節団勧告書 要旨(4)

編・堀川和夫

千住に(足立成和信金前)木像芭蕉さんが登場／首里城炎上

学童疎開資料展アンケート(2) 8月5日～9月足立区役所 アンケート

63枚内感想文43通 学校の授業でも話して

近松松次郎調査・先行資料

足立風土記資料金石文Ⅰ「記念碑等」(1992年)

旧西新井村展と新井学校・近松学校

『足立史談』第85号(昭和50年(1975年)3月)

羽田 栄夫

近松小学校と近松松次郎氏の関係について(一)

『足立史談』第129号(昭和53年(1978年)11月)

羽田 栄夫

近松小学校と近松松次郎氏の関係について(二)

『足立史談』第129号(昭和53年(1978年)12月)

羽田 栄夫

◇381 2019.12 A4 8p

文部科学省資料 終戦直後の日本の教育改革の原点 第二次訪日アメ

リカ教育使節団勧告書 要旨(5)

編・堀川和夫

10月史蹟探訪 本郷求道会館から一葉遺跡をめぐる

山門修復なった西新井大師訪問

ウォーキングと歴史探訪 梅島・島根・西新井

伊藤 博

おくのほそ道旅立330年俳聖の灯・分火式／芭蕉陶像鎮座披露と芭蕉

旅立ちの地で俳句を語る集い

俳句を語る集い入賞句(86句より)

足立の俳句先人追慕 参考・明治24年・村人たちの俳句作品

清水謙吾「昭代楽事」明治24年刊

◆明日を拓く／解放研究 東日本部落解放研究所

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1993年創刊

<http://www.hblri.org>

◇120 (43-5 通203) 2019.11 A5 97p 1000円

《特集 発信する東日本の若者たち(上)》

特集にあたって

編集部

部落の若者に聞く一部落との出会いと子供達に伝えるということ

インタビュー：スターディック・マーティンさん

岸本萌さん

「私たちが部落出身です」って、言えるような社会にしていきたい
海野敦彦さん 同和教育は、子どもを徹底的に追いかける。それは昔
も今も変わらない

深田広明さん

自分が知らないと、現実には差別を受けても気づけない

◇121 (44-1 通204) 2019.11 A5 119p 1000円

《特集 発信する東日本の若者たち(下)》

特集にあたって

編集部

特集1 反差別・人権青年交流会／学習会 報告 広沢佑さん「日本
の公教育の現場から」

特集2 座談会：若手小学校教員が語る教育実践

一二つの世代が語る墨田の同和教育との出会いと実践」から4年
伊藤美波さん・岩田明夫さん・海野敦彦さん・小沼未緒さん・斉藤
公春さん・竹村祐哉さん・鳥羽大河さん・広沢佑さん・本間歩美
さん・藤沢靖介・吉田勉

近況報告 座談会から三年が経って／参加メンバー

特集3 若手小学校教員の教育実践報告

斉藤公春さん 荒川支部と連携した教員人権研修の取組

海野敦彦さん 大切なもの

広沢佑さん 食肉授業の取り組み

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0075板橋区桜川2-27-3 大澤鷹遼方 TEL03-5398-2682

1966年創刊 <http://www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/>

◇302 2019.11 B5 23p

表紙写真解説 初詣風景 氷川神社（板橋区氷川町二一番八号）

写真と文・井上富夫

板橋史談会行事予定(令和元年12月～令和2年3月)

板橋区小茂根地区の三遺跡

桜井美代子

緑のカーテン(3)―板橋発「全国緑のカーテンフォーラム」

松浦 勉

板橋区文化財情報 令和元年度板橋区登録文化財の諮問について

事務局

「旧粕谷家住宅保存・管理事業」に対する板橋区への寄付について

地域図書紹介 勅使河原彰・保江著『武蔵野の遺跡を歩く―一都心編』

文責・大澤鷹遼

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 <https://www.okumusashi.club>

◇430 2019.11 B5 21p

登山界に輝いた奥武蔵の巨星墜つ

小泉 重光

山頂の石造物—私の行風山探訪記

吉田美知子

六万部塚の碑を読む

町田 尚夫

日本煉瓦製造株式会社専用線(1)—会社設立から専用線敷設まで

野口 実

山徒然(8)

関口 洋介

安全対策班だより 山行中止連絡と事前エントリー制について

河野 尚久

奥武蔵研究会十年のあゆみ

2010年(平成22年)～2019年(平成31年／令和元年)

◆北区史を考える会会報

〒115-0052北区赤羽北1-3-10 大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊

◇135 2019.11 B5 8p

文化財教育の欠如

榎本 龍治

第440回 月例見学会 国立印刷局—東京工場

山田美登里

第441回 月例研究会 豊島の名所・旧跡を歩く II

領塚 正浩

天理教東京教務支庁の鍛煉瓦塀について

領塚 正浩

区内村落の鎮守社と寺院支配

榎本 龍治

◆ケガレと銅鐸通信 ふたつの謎の解明について 木村成生

〒197-0023福生市志茂113-2 TEL042-551-2768 2017年創刊

<http://rakkodou.cside.com>

◇12 2018.11 A4 7p

網野善彦『日本の歴史をよみなおす』を読み直す(4)「胞衣の扱いが、

東と西ではかなりちがうようなのです。」—なぜ胞衣の扱いが東と西

でちがうのか

木村 成生

新聞からラジオから ゲーター祭り 2018年9月25日 朝日新聞夕刊

「風景をたどってⅦ 3. 潮騒の島 一輪車はめぐる」

木村 成生

◇13 2019.2 A4 7p

網野善彦『日本の歴史をよみなおす』を読み直す(5)「天皇と神はケ

ガレを極度に嫌いますので、道の掃除が行われます。」—なぜ天皇と

神はケガレを嫌うのか

木村 成生

来訪神とは何か

ユネスコの無形文化遺産に登録された「来訪神」について

木村 成生

◇14 2019.3 A4 8p

網野善彦『日本の歴史をよみなおす』を読み直す(6)「ではどうしたらモノは商品として交換されるのか」—なぜ商品ができ、境界に市ができるのか 木村 成生
新聞からラジオから 白鳥八幡宮の日の出祭り 2018年2月15日 金
曜日 NHKラジオ第1 12時18分 「関東地方のニュース」 木村 成生

◇15 2019.6 A4 14p

網野善彦『日本の歴史をよみなおす』を読み直す(7)「また支払手段、流通手段としての貨幣というだけでなく、和同開珎は、一種の呪術的な意味をもった使われ方もしております」—なぜ銭が呪術的な意味をもったのか 木村 成生

◇16 2019.9 A4 12p

まったく新しい大嘗祭の解釈
—十日神話、射日・招日神話で読み解くその本義(1) 木村 成生

◇17 2019.9 A4 16p

大嘗祭—暁が意味するもの
—十日神話、射日・招日神話で読み解くその本義(2) 木村 成生

◇18 2019.12 A4 10p

来訪神とは何か(1)
—ユネスコの無形文化遺産に登録された「来訪神」について 木村 成生

◇19 2019.12 A4 13p

来訪神とは何か(2)—来訪神は餅をもらっていく 木村 成生

◆石神井公園ふるさと文化館ニュース 練馬区立石神井公園ふるさと文化館

〒177-0041練馬区石神井町5-12-16 TEL03-3996-4060

<http://www.neribun.or.jp/furusato.html>

◇35 2019.12 A4 4p

特別展「あれもこれも大江戸漫画づくし」
分室コラム 少女漫画家たちの集いの場「大泉サロン」／サポーター
コラム「アニメはこうなっている。」

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948

年6000円 1993年創刊

◇107 2019.10 A4 4p

畦状堅堀を二一一条確認—備中南山城の南斜面で

最近の城郭ニュースから 名古屋城天守木造復元化の調査／島原城
外郭石垣／浜松城石垣保護への調査／西南戦争時の保塁／織田軍付
城を全面発掘／金沢城玉泉院丸石垣は前田綱紀時代の構築か／加賀
国府の国司館遺跡／二本松城の発掘調査／桧山城の発掘調査／盛岡
城の発掘調査

◆杉並郷土史会会報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊

<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

◇278 2019.11 A4 8p 400円

例会記 梁塵秘抄―後白河法皇が愛した流行歌

古典文学研究家 貝瀬弘子先生

波 巖

例会記 軍港横須賀からペリー上陸の地を訪ねる

服部 建人

私の本棚から(57) 明治維新の光と影 西原春夫著 万葉舎

新村 康敏

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会

〒111-0042台東区寿2-9-9 北村国男方 TEL03-3844-2008 年3000円

1987年創刊 <http://ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/>

◇66 2019.10 A4 8p

隅田川と墨田区の由来

小谷野光一郎

平成31年度 隅田川市民交流実行委員会 総会報告

小堀 郁恵

総会記念講演 『下水』道について 講師：加藤裕之

第14回隅田川クリーン大作戦実施報告

藤原 隆

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<http://www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/>

◇336 2019.11 A4 2p 100円

江戸の三閻魔

◇337 2019.12 A4 2p 100円

『奇態流行史』が載せる大道芸 与次郎兵衛の釣合人形／博徒の水垢
離／耳の垢取り職人／丈の高い履物／疱瘡神を祓ふ赤絵

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊

<http://tamatiken.web.fc2.com>

◇138 2019.11 B5 6p

第105回例会報告 第105回例会「湯殿川は、なぜ湯殿川なのか—七国

峠に出羽三山供養塔を見に行く」参加記 太田 千晶

事務局より 多摩地域史研究会、これまでの活動と今後の活動 梶原 勝

事務局報告 多摩地域史研究会 2018年度収支報告

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊

<http://www.tamashin.or.jp>

◇176 2019.11 A5 96p

グラビア 小河内貯水池

《特集 米軍基地と多摩》

米軍基地の形成と基地問題、基地反対運動—昭和二〇年代の諸相 齊藤 勉

米軍「昭和基地」と日本人従業員 三村 章

調布市耕農場の姿

—これまでの著作・論述では触れられていない二つの疑惑 井上 健

カントウ村の建設と64東京オリンピック 古橋 研一

DoDDS(国防総省扶養家族学校)について 植崎 由美

立川市日米連絡協議会と米軍立川基地 沖川 伸夫

飛行機とともに二五年 原田亀太郎さんの一世紀 植崎 茂彌

洋風建築への誘い(65) 丘に佇む 国立・沖本邸 伊藤 龍也

建物雑想記(60) 近代和風住宅 沖本邸和館 酒井 哲

古文書は語る(53) 幕末の江戸警備と近郊農村

—河田家文書「江戸警備取締りにつき御触請書」より 馬場 憲一

多摩の歴史を立体視！—赤色立体地図の風景(3)

小河内貯水池—開発で失われた地形や町と赤色立体地図 大里 重人

本の紹介

東村山ふるさと歴史館編『税金今昔—租税資料から村がみえる』 牛米 努

山崎丈著『東久留米の戦争遺跡—戦争の惨禍を語り継ぐために』 勅使河原彰

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490 年2000円 <http://tias3.web.fc2.com>

◇139 2019.11 A4 6p

報告 見学会「印刷博物館」 文・多田統一

産業遺産を訪ねて(23)

旧博物館動物園駅—京成電鉄の上野恩賜公園内の旧駅舎

文献紹介 『ツウになる！ダムの教本』 宮島咲著 多田 統一

短信 中部産業遺産研究会「ものづくり中部の革新者たち」

新刊紹介 『空の旅』 柳沢光二著 吉田 修

文献紹介 『東京カイシャハッケン伝 GUIDE 17』 東京都産業労働局

雇用就業部就業推進課編集・発行 多田 統一

日本赤煉瓦建造物番付 茨城県場所 令和元年八月 ベスト30

茨城県古河市の赤煉瓦建築物(1)

「亀屋商事 旧飯島製糸煉瓦倉庫」 文・写真 八木司郎

◆東京の文化財 東京都教育庁地域教育支援部管理課

〒160-0023新宿区西新宿2-8-1 TEL03-5320-6862 1979年創刊

◇127 2019.9 A4 8p

東京文化財ウィーク2019が始まります！

東京9区文化財古民家めぐりのあゆみ

文化財を活かす(中野区) 哲学堂公園の保存と活用

文化財を活かす(国立市) 本田家住宅の現状と展望

東京都立埋蔵文化財調査センター平成31年度企画展示「ひと×いきもの」

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 TEL03-3977-3091 1956年創刊

◇374 2019.10 A4 2p

三宝寺池の歴史 葛城 明彦

豊島氏関係史料を読む 番外編 平安末～鎌倉期の豊島氏(3) 伊藤 一美

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014練馬区豊玉南3-24-4 飯塚芳男方 TEL03-3992-0264

年2500円 1987年創刊

◇126 2019.11 B5 4p

第128回例会 地名と和歌等 地名の大切さ／読みの難しい地名／変わっている地名／変わっている山の名前／感じの良い地名／日本の美しい街／災害の恐れのある地名／安全な地名／今尾恵介「地名で災害予測困難」／地名変更による住民の反発と旧地名の復活の動き／和歌と地名

土屋 正孝

◆練馬古文書研究会会報

〒176-0022練馬区向山3-21 保戸塚太地方 TEL03-3999-8871 1985年創刊
<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/>

◇63 2019.11 B5 4p

信長と秀吉の晩年	武田 健作
田中村の名主	本橋 竹文
顔真卿展と多胡碑(高崎市)	堤 治子
趣味の世界 囲碁の楽しみとその効用	柴辻 俊六

◆民俗建築 日本民俗建築学会

〒162-0843新宿区市谷田町2-33 法政大学デザイン工学部建築学科内
 TEL03-5228-1496 年9000円 <http://www.folkhouse.org>

◇156 2019.11 B5 110p

扉絵 新潟県佐渡市長畝 佐藤家住宅 2004年	桑野 進
巻頭言 日本民俗建築学会 見学会展望	杉本 尚次
審査論文	
摂丹型民家の破風にみる対外性・格式性の変遷に関する研究	山崎 敏昭
2019年度大会発表研究論文	
小郡市指定有形文化財平田家住宅の価値とその修復	土田 充義
渥美半島基部の豊島集落における農村住宅とその周辺の景観	林 哲志
民家の保存活用における外国人の役割：滋賀県日野町の事例研究	鈴木あるの
福岡藩第3代藩主黒田光之の葬送の施設と絵図	佐藤 正彦
仏壇・教会・住まい・安心	内記 志朗
岩手県金ケ崎町六原の桑嶋家文書にみる雑石御蔵と御吹屋の復元の研究	菊地 憲夫
大会報告 一般社団法人日本民俗建築学会 第46回大会報告	
実行委員会 西尾嘉美・森隆男・椿原佳恵	

民俗建築アーカイブ(17)

広島県比婆郡北部の民家(その1 堀江家住宅)	民俗建築アーカイブ担当
View 民家(51) 加賀東谷集落 山村集落の原風景	朴 賛弼
One Shot Minka(24) 白山西麓の出作り	長岡 正宏
2018年度一般社団法人日本民俗建築学会学会賞(佐藤重夫賞 富士田亮子氏、奨励賞 菊地憲夫氏・山田岳晴氏)	事務局
会員活動情報 西予市卯之町での重伝建選定10周年記念ワークショップ	
「開明学校をつくってみよう」に参加して	竹下 浩子
新刊紹介	

『日本茅葺き紀行』 日本茅葺き文化協会編 坪郷 英彦
『勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観調査報告書』 山梨
大学大学院総合研究部生命環境学域菊地研究室・甲州市教育委員
会文化財課編 林 哲志
『京都学び舎の建築史明治から昭和までの小学校』 大場修著 編集委員会
文献紹介 単行本・報告書・論文 事務局

◆明治維新史研究 明治維新史学会

〒261-0014千葉市美浜区若葉1-4-1 神田外国語大学 町田明広研究室
2004年創刊 <http://www.ishinshi.jp>

◇17 2019.11 B5 168p

《第48回明治維新史学会大会 シンポジウム「慶応三・四年を問い直す」》

明治維新史学会二〇一八年大会特集「慶応三・四年を問い直す」

趣旨説明

シンポジウム「慶応三・四年を問い直す」開催にあたって 大会運営委員会
基調報告

慶応三・四年の歴史的位置—「国内史」の視点から 小泉 雅弘
「世界史のなかの明治維新」をめざすには—東アジアの視点から 木村 直也

(1) 政治と外交

研究報告 条約勅許・万国公法・大攘夷—条約勅許後の対外関係の
構想と展開 奈良 勝司

関連報告 昨今の明治維新时期国際関係史研究批判 鶴飼 政志

(2) 思想と社会

研究報告 「卓越」と衆議—王政復古後の立花壺岐 池田 勇太
関連報告 帰ってきた王室家—明治初年の攘夷派の位置をめぐって
三ツ松 誠

(3) 地域と社会

研究報告

「政権交代」と地域—関東の旧幕府領と旧旗本知行所を中心に 宮間 純一
関連報告

三井からみた慶応三・四年一代官所年貢金取扱御用をめぐって 村 和明

(4) 軍事と情報(社会)

研究報告 新政府による諸藩編制と軍事関係文書の管理 箱石 大
関連報告

戊辰戦争における海軍情報の伝播と受容—軍港浦賀を中心に 神谷 大介
個別・全体の質疑・討論

神奈川県

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0021小田原市早川160 青木良一方 TEL0465-22-8852
年3000円 1961年創刊 <http://odawara-shidan.hustle.ne.jp>

◇259 2019.10 A4 28p

消えた如来像の行方―曾我物語後日嘸・奇跡の縁

関谷満さん・曾我功さん・草山一之さん

大日如来坐像について

工藤 利夫

大鳥の大日如来と工藤家のこと

工藤利夫さん（山形県鶴岡市大鳥在住）に聞く

画家・井上三綱の芸術について(2)

田代 勉

井上三綱先生との思い出

竹石 友蔵

二宮尊徳と『論語』(9)

岩越 豊雄

こゆるぎの現代詩人たち(3)

庶民史家、だけでない一生来の詩人・播磨晃一

村山 精二

片岡日記 昭和編(18) 昭和4年7月～10月

片岡永左衛門

三代の旅 伏見稲荷詣

河合多美江

◆神奈川県立公文書館だより

〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1 TEL045-364-4456 1994年創刊
<https://archives.pref.kanagawa.jp>

◇41 2019.10 A4 4p

令和元年度 小・中学生夏休み親子講座

「波理登城將軍謁見之図」の名称変更

上田 良知

村の「公文書」―年貢関係の古文書を読む

椿田有希子

ハーデー翁没後百年記念 ミニ展示「もうひとつの金河奇勝ものがたり」から

齊藤 達也

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス26
2013年創刊

◇71 2019.11 A4 2p

パラリンピック金メダリスト 三枝仁子さん

西 弘子

台風19号、「避難」を識る体験

(曾原)

昭和の初めの腰越を聞きに

(高階)

◇72 2019.12 A4 2p

沖本幸子～鎌倉の女医第1号
「腰越に生きた女性たち」を聴講して
腰越・今泉・玉縄の恒例の出前朗読会

高階志津江
山根 信子
(横松)

◆クロス 常民文化研究会

〒254-0016平塚市東八幡2-8-20 西海賢二 年1000円 1979年創刊

◇159 2019.11 B5 6p

三遠信美流れの結節点一境界の山村暮らしから(7) 豪農と文化施設
一稲武の十王堂と辨天堂の勤化活動と俳諧の展開によせて 西海 賢二

◆市史通信 横浜市の史編集室

〒220-0032横浜市中区老松町1 横浜中央図書館地下1階 TEL045-251-3260
2008年創刊 <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shishioryo/>

◇36 2019.11 A4 12p

日貿博の余興と催し物論議 百瀬 敏夫
日記に見る横浜の戦後 羽田 博昭
伊勢佐木のお菓子屋さん(1) 金 耿昊
所蔵資料紹介 日本貿易博覧会関係資料 百瀬 敏夫

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館気付(吉田律人・西村健)
TEL045-201-2169 年3000円 <http://shutokenshi.org>

◇86 2019.11 B5 4p

研究例会 第114回例会 2019年(令和元)年12月14日(土) 13:45～
16:30 報告 海老澤模奈人 厚木中央通り防災建築街区の成立と
変遷一戦後都市の近代化とその遺産、報告 大野一郎 あつぎ郷土
博物館開館までの経緯と博物館の概要について、あつぎ郷土博物館
展示見学会/次回の研究例会 第115回例会 関東近世史研究会と
の合同例会 テーマ「江戸・東京を考える(仮題)」
情報ネットワーク 展示会情報
新小研究会立ち上げのお知らせ 小研究会「首都圏形成と地域政治」
の趣旨 発起人:大西比呂志・手塚雄大・松本洋幸

◆戦争と民衆 戦時下の小田原地方を記録する会

〒250-0011小田原市栄町3-13-21 井上弘方 1980年創刊

◇83 2019.8 A5 20p

発足四〇年を迎えて

「戦争と民衆ブックレット4」の出版予告 『戦中戦後の箱根病院～パ
ラリンピックに出場した傷痍軍人～』（仮）

聞き取り 国立箱根療養所で過ごした子ども時代 話し手：宮本一嗣

解説 箱根病院について 井上 弘

解説 療養所の子どもたち 井上 弘

本会5冊目となる証言集出版の紹介 『未来へつなぐ小田原の戦争体
験』 戦時下の小田原地方を記録する会編集・発行

交流報告

横浜大空襲七四年 「五・二九」横浜大空襲祈念のつどい参加記 矢野 暁

手記 八月一四日の夜（終戦前夜） 高田 掬泉

資料紹介 譲原純一郎が家族へ送った軍事郵便 井上 弘

◆藤沢市史研究（続）藤沢市史編さん委員会

〒251-0054藤沢市朝日町12-6 藤沢市文書館 TEL0466-24-0171 1970年創刊

◇52 2019.3 A5 100p

口絵 乃木將軍銅像広場（絵葉書 内田輝彦氏蔵）

持田角左衛門と若尾商店一相州生糸の対米戦略をめぐる 内海 孝

乃木希典と片瀬 高野 修

講座報告 古代相模国高座郡をめぐる地域支配と交通 田尾 誠敏

新刊紹介・書評

伊藤一美著 藤沢市史ブックレット『江の島、神の島から人の島へ』

真鍋 淳哉

大矢悠三子著『江ノ電沿線の近現代史』

松本 洋幸

『古代神奈川の道と交通』の書評に対するリコメント

荒井 秀規

◆藤沢地名の会会報

〒252-0032藤沢市片瀬4-6-6 吉澤忠雄方 TEL0466-22-4567 1985年創刊

◇100 2019.7 A4 12p

研究発表

鎌倉大仏殿と明応津波 萬年 一剛

柳田国男・松岡静雄ゆかりの藤沢周辺地名 小田 富英

会員報告

藤沢地名の会会報100号記念 藤沢市内道標一覧（令和元年7月） 吉澤 忠雄

こんな本・紹介 『平成から大化まで全元号解説』 河野浩一著

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学日本常民文化研究所内

TEL045-481-5661 年5000円 <http://www.mingu-gakkai.com>

◇159 2019.11 B5 72p

資料群の位置づけと博物館における民俗資料の特色

- | | |
|----------------------------|-------|
| 一名古屋市博物館の下之一色漁業資料を事例として | 長谷川洋一 |
| 有田川の徒歩鵜飼—鵜小屋と鵜飼道具に視点を置いて | 宅野 幸徳 |
| ネパールの木地製作用手引ろくろについて | 小椋 裕樹 |
| 辻切り行事における大蛇の諸相—千葉県市川市の事例から | 三村 宜敬 |
| ひろば 研究会報告 | |

第153回 日本民具学会研究会 テーマ「雪とのたたかい—長岡で考える除雪用具と近代」 山田祐紀氏「長岡の雪文化と除雪のあゆみ」、池田亨氏「越後のクシキ(木鋤)生産の盛衰—産業報国会と萱葺き屋根の激減」、大楽和正氏「鉄製スノーダンプの歴史を探る」、岩野邦康氏「歩行型除雪機の誕生と民俗」

飯島 康夫

第154回 日本民具学会研究会「民具から見えてくる地域像」に参加して 「南関東の共有膳椀—東京都・神奈川県の実例から」 神かほり、「東京湾沿岸地区の漁撈用具調査から—千葉県浦安市・君津市の事例を中心に」 尾上一明、「市民協働による展示替え—都市近郊博物館と民具」 加藤隆志

小林 慧

展示批評・展示紹介 展示紹介

八王子市郷土資料館特別展「八王子のおまじない」

美甘由紀子

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊

◇620 (52-8) 2019.11 A5 24p 350円

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 描かれた野州鍬の資料性—図像は民具研究に資するのか(上) | 石井 和帆 |
| 現在の野鍛冶の製品と顧客 | 黒田 迪子 |
| 書籍紹介 『くらしの造形 手のかたち・手のちから』 神野善治編 | 長井 亜弓 |

◇621 (52-9) 2019.12 A5 24p 350円

モンゴルの食事空間とカマド

- | | |
|---------------------------------|------|
| —青海省と内モンゴルのモンゴル人を中心に | 阿 盈娜 |
| 鳥取県北栄町主催「明治一五〇年 民具資料のお別れ展示」と民具の | |

「除籍(廃棄)」について(その二) 檜村 賢二
 書籍紹介 『ドブネ復元ー日本海沿岸の船づくりー』 氷見市立博物館
 特別展図録 廣瀬 直樹

◆大和市史研究 大和市役所文化スポーツ部文化振興課市史・文化財担当
 〒242-0001大和市下鶴間1-1-1 TEL046-260-5336 1975年創刊

◇41 2019.3 A5 55p

巻頭写真特集 市制施行60周年記念 航空写真で見る市域の変遷

講演録 旧石器時代のつきみ野 平成29年(2017)3月5日

大和市文化財愛護講座(於 大和市生涯学習センター) 安蒜 政雄

領主さまざまランキングー大和市域の近世の領主たち 神崎 直美

小田急線の敷設と林間都市計画 浜田 弘明

◆悠 久 鶴岡八幡宮悠久事務局

〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31 TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊

◇159 2019.10 A5 132p 680円

《特集 元号》

エッセイ 歴史を照らす 水沢 勉

「令和」改元の画期的な意義 所 功

天平二年の「梅花の宴」の特色ー元号「令和」を視野に 菊地 義裕

古代日本の改元と祥瑞 小塩 慶

年号と難陳ー公武関係と宗教的要素を中心として 水上 雅晴

元号制度と年号勘文 久禮 旦雄

近現代の「元号」と神道人 河村 忠伸

資料 元号一覧

口絵解説 新嘗祭 それぞれ

八幡宮紹介 八幡神社 松平東照宮(愛知県豊田市松平)

新刊紹介 『江島詣』一弁財天信仰のかたち 鈴木良明著／『皇室事典

制度と歴史』『皇室事典 文化と生活』 皇室事典編集委員会編著

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会

〒232-0022横浜市中区高根町2-8-12-1001 木村高久方 1984年創刊

<http://www.yokoreki.com>

◇79 2019.11 B5 80p

《特集テーマ 改元》

2019年度上期を終えて 木村 高久

特別寄稿 日本元号の基礎知識	松尾 光
特集テーマ「改元」	
令和改元に思うこと	竹村 紘一
旅人の哀しみと憶良の優しさを知る	小林 道子
野営の恋と花山天皇の退位	山本 修司
漢の武帝と元号	栗 光行
エッセイ	
『昭和末期の小さな出来事』	加藤 導男
『元号』雑感	瀬谷俊二郎
色葉匂へど(2) 歴史に想う事 ゲンさんの幻想	宮下 元
信玄正室三条夫人の出自と哀れな最期	高野 賢彦
「大和守日記」 家康ひ孫大名の生活と人生(3)	長尾 正和
家康の三女・振姫の波瀾の生涯	竹村 紘一
伊達騒動(寛文事件を中心に)	長谷川憲司
大泊皇女一早すぎる母の死	遠田千代吉
忖度したのか？陳寿！	真野 信治
暦シル鎌倉室町400波73	高尾 隆
師団長二人、博士二人…柳田国男の閨閥	近藤 政次
古歌をたずねて～その九 「更級日記」より～月の光と悲しみと	丹下 重明
目白の杜から(2) 華族制度と学習院	忌部守(村島秀次)
陰謀説ってホント？	真野 信治
薬草と古代の色と匂い	武田 収功
南岸低気圧・雪の歴史と吾妻鏡	西沢 昭
横浜雑記 桜木町にて	鈴木美恵子
「たかがイヌ、されど犬」	雨宮美千代
傘寿の手習い沖縄空手	西川 章
台湾から与那国島への実験航海成功に思う	木村 高久
2019年度上期行事報告 春期歴史散歩 江戸名所図会でひも解く「早	
稲田の杜から神田川 春の庭園をめぐる」／横歴研修バスツアー	
「辛酸と忍耐」若き日の家康をたどる遠州の旅	広報・高尾 隆
追悼の辞 親友・田中康さんの死を悼む	高島 治

新潟県

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-0916新潟市中央区米山3-1-31-1101 金田文男方 TEL025-241-9402

1935年創刊 <https://fsnp.mints.ne.jp>

◇414 2019.11 A5 50p

放生会と水神様(上)

大竹 信雄

羽下大化と小林存(2)

岩野 笙子

民俗聴取の宝 佐藤常七氏(88歳)

広井 忠男

高橋克庵『北遊紀行』『大泉行』そして幻の『海府遊記』

鶴巻 武則

小報告 三条市中浦集落の虫送りなど

金田 文男

有志見学会報告 下関大祭見学

高橋 郁子

有志見学会報告 『大泉行』大蔵神社記事

鶴巻 武則

『東遊雑記』の大利峠蛇骨記事

表紙写真 関川村大蔵神社祭礼における大輪(だいわ)のあおり(高橋
郁子撮影)

◆新潟史学 新潟史学会

〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050 新潟大学人文学部史学研究室内

TEL025-262-6289 1968年創刊

◇79 2019.11 A5 76p 1000円

堀直政の基礎的研究

田嶋 悠佑

「スフィンクス(Sphinx)の謎語」に向かって一幸徳秋水と足尾鉍毒問題 商 兆琦

大正期地方実業家の経営と政治行動

一新潟市 齋藤喜十郎家の大正期について

横木 剛

書評 矢田俊文・長岡市立中央図書館文書資料室編『現代災害史研究

と史料保存―長岡市災害復興文庫・写真帳『災害記録 長岡市』を

中心に』

菅野 葉月

◆まきの木 巻郷土資料館友の会

〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1 TEL025-672-6757 年1500円 1978年創刊

◇111 2019.10 B5 20p

天保十三年 角海浜村へ「高機」禁止令通龍

一角海浜村の高機織と越後の高機織の起源

亀井 功

炭一昔を偲んで

近 武郎

曲物「柄杓」の変遷―新潟県内遺跡出土事例から

細井 佳浩

令和元年 春の研修旅行 糸魚川・中越地域

山賀 誠

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内

TEL025-222-2262 1978年創刊

◇166 2019.10 A4 16p

「若き日の良寛さま」(宮尾清一・画)

みやお・せいいち(大正4年～平成15年)

リレーエッセイ 良寛つれづれ(15) 祖父と良寛さん	器楽堂ゆう子
良寛遺墨鑑賞(14) 良寛が朱註を入れた『万葉和歌集』	小島 正芳
折々の良寛(55) 良寛「法華讃」のすすめ(2)	長谷川義明

2020年度〔第43回〕全国良寛会玉島大会(予告)

全国良寛会玉島大会を歓迎します	虫明 徳二
-----------------	-------

全国良寛会「燕大会」を終えて	氏田 公基
----------------	-------

「令和元年度全国良寛会燕大会」新潟県知事メッセージ	花角 英世
---------------------------	-------

第42回全国良寛会燕大会に参加して

坐禅の神髄	井出 存祐
-------	-------

和敬清寂	渋谷 耕一
------	-------

良寛の心が伝わった老師の朗詠	小川 茂正
----------------	-------

心温まる燕大会でした	安達 武男
------------	-------

金毛獅子変成狗	小山 孝治
---------	-------

各地良寛会だより(7)

吉田良寛会の巻 燕大会 おもてなしの心 一つになって	斎藤 光雄
----------------------------	-------

相馬御風の良寛(15) 林麿雄輯「良寛禅師歌集」	金子善八郎
--------------------------	-------

良寛を敬慕した父・フィッシャーの想い出	近藤シルヴィア
---------------------	---------

良寛を訪ねて(15) 寺泊 子陽とむらの墓(上)	吉井 清一
--------------------------	-------

別冊(16頁) 令和元年全国良寛会燕大会 記念講演講演録 講師：泉

田玉堂老師(大徳寺第五百三十世) 演題：「良寛和尚一金毛獅子変

じて狗と成る」 令和元年6月8日 燕三条地場産業振興センター

長野県

◆飯田市歴史ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<http://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/201700601.html>

◇102 2019.10 A4 4p

第17回飯田市地域史研究集会を開催しました

飯田・下伊那の蚕糸業と地域社会

飯田歴史賞2019 受賞者コメント

歴史賞著作賞

大日方悦夫氏『満洲分村移民を拒否した村長一佐々木忠綱の生き方と信念』

中平区誌編纂委員会編『中平区誌』

細谷亨氏『日本帝国の膨張・崩壊と満蒙開拓団』

奨励賞 速渡賀大氏「飯田藩領における借家人の生活形態—上飯田村・山村を中心に」(『飯田市歴史研究所年報』第16号、2019年)

特集 歴研と私 歴研の活動がつくりだす「研究と学びの公共圏」 田嶋 一

◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 TEL0265-22-6017 年5500円

◇1098 (67-11) 2019.11 A5 50p 550円

口絵 大鹿村入沢井の「逆さイチョウ」と観音堂円通殿の彫り物 北村 尚幸
上郷飯沼の養鯉業と南信州の様相 岡田 勉
宮下相次郎「事務日誌(明治期)」(5)一山の村の芝居興行顛末 松澤 英男
明治初期の飯田下伊那の町村地図

—「皇国地誌」編纂事業との関連で(上) 青木 隆幸
東山道はどこを通過していたのか(上)—旧小野川村～旧駒場村間 下原 恒男
天竜川流域の御社宮司神(2)—伊那谷南部の小字から(13) 今村 理則
「アララギ」の俊英歌人・土田耕平ゆかりの建物消える 平沢 忠明
下伊那日録(2014年10月～11月) 寺田 一雄

各町村史学会の動き 竜丘史学会の総会・学習会

◇1099 (67-12) 2019.12 A5 50p 550円

口絵 飯田市・光明寺 不動明王四童子像 織田 顕行
伊那郡の俘囚 桐原 健
明治初期の飯田下伊那の町村地図—「皇国地誌」編纂事業との関連で 青木 隆幸
東山道はどこを通過していたのか(下)—旧小野川村～旧駒場村間 下原 恒男
龍への畏敬と制御—天竜川流域の仏神たち 中島 正韶
天竜川流域の御社宮司神(3)—伊那谷南部の小字から十四 今村 理則
伊那 第六七巻総目録 〈2019.1〉より 〈2019.12〉まで

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4501伊那市西箕輪3180 山口通之方 TEL0265-73-5538 年5000円

◇754 (63-11) 2019.11 A5 40p 500円

3 万年前の航海再現プロジェクトから学んだ縄文大工の考え
—自然+人間+道具=暮らし 雨宮 国広
石仏探訪記—守屋孫兵衛と傳三郎の石仏 田中 清文

片桐氏嫡流系図についての考察(1)
 大塔合戦に参加した上伊那の武将とその本拠地
 東春近村の草相撲強豪3力士
 古文書の窓(147) 村定メ
 図説・上伊那の民俗(30) 吉瀬諏訪社の獅子舞(駒ヶ根市中沢吉瀬)
 徒然さんば(4) 聖徳寺

片桐 充昭
 丸山 敏一郎
 北原 昌弘
 松澤英太郎
 三石 稔
 吉田 勝美

◇755 (63-12) 2019.12 A5 48p 500円

《広域特集》

〈第44回上伊那歴史研究会県外実地踏査報告

愛知・岐阜と上伊那とのつながりを探る―戦争と平和を視点に〉

戦争体験を聞きながら

三菱重工業名古屋航空機製作所跡を訪ねて

『いのちありて』―念願の慰霊碑へのお参りを果たして

戦争と平和の資料館「ピースあいち」を訪ねて

語り継ぐことに込められた願い

藤前干潟

各務原陸軍飛行場等戦時遺跡への実地踏査

液冷発動機の開発と運用に見る日本の戦争遂行能力

「杉原千畝記念館」を訪ねて

あのころのこと

『いのちありて』の背景を巡って～雑感

戦時下の中京地域への空襲

古文書の窓(148) 禁酒の誓

文化短信 「伊那谷の石仏(守屋貞治の石仏傑作選)」を鑑賞して

図説・上伊那の民俗(31) 上戸のデーモンジ(伊那市西箕輪上戸)

徒然さんば(5) 大御食神社

『伊那路』第63巻総目次 平成31・令和元(2019)年

書籍紹介 箕輪町教育委員会『箕輪町の文化財』

田村 栄作
 塚田 博之
 岸本多恵子
 小島 諭
 竹若 康雄
 池上 篤
 久保田 誼
 湯澤 章平
 内藤りつ子
 松澤英太郎
 田中真奈美
 山口 通之
 松澤英太郎
 庄村 栄子
 三石 稔
 吉田 勝美

◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118

年3000円 1990年創刊 <http://inaminkenhonme/blogspot.jp>

◇118 2019.9 B5 8p

表紙 久井天神公園／飯田市松尾久井の「天神様」

子供たちの楽しみ、天神講―下伊那地方の事例を中心に

報告 6月通常例会 松上清志会員「阿智村清内路における出作り」

片桐みどり
 片桐みどり

発表要旨、中島正韶会員「飯沼北条の小字地名考(1)」発表要旨 文責・今井啓
 上郷飯沼の民俗 第1回合同調査を開催 近藤 大知
 第3回特別例会 折口講座「髭籠の話」(大正4年)を読む
 講師：小川直之所長 講義要旨 文責・今井啓
 「死者の書」 アニメと原作小説に感じたこと 今井啓(飯田市)

◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇838 (72-11) 2019.11 A5 84p 1150円

《講演・近現代特集》

総会講演 求められる歴史学

一他分野との協同、地域への貢献	白水 智
拓務省委員中原謹司の満洲視察一下伊那の満洲移民研究への試論	本島 和人
語りと記録のなかの大日向満洲分村移民体験	伊藤 純郎
農村副業と農村産業組合	清水 一明

◇839 (72-12) 2019.12 A5 88p 1150円

《地域特集「安曇野」》

佐々成政の富山浜松往復と安曇郡	萩原 大輔
初期松本藩領における法と下津文書	
一慶長一十九年発給の小笠原秀政印判状・制札をめぐる	村石 正行
拾ヶ堰を求めて一長大な横堰への希求と実現への道	逸見 大悟
江戸時代中後期の在郷町の身分対立一糸魚川街道池田宿をめぐる	小野 和英
地域動向	

仁科路研究会の活動について	荒井和比古
安曇野市文書館の収蔵資料と活動について	青木 弥保

『信濃』第71巻総目次 自平成31年(2019)1月至令和元年(2019)12月

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇274 2019.11 B5 8p

もう一つの絹一天蚕	倉石あつ子
松本市の養蚕神(松本市島内)	小原 稔

◆長野市公文書館便り

〒380-0801長野市箱清水1-3-8 長野市城山分室内 Tel026-232-8050

<http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/>

◇38 2019.4 A4 2p

長野市公文書館が移転します

古文書紹介 立岩嘉雄文書「信州囲碁手合競」嘉永7年(1854年)、松田家文書「囲碁独習定石解 全」明治40年(1907年)

◇39 2019.7 A4 2p

改修終る若里分室の長野市公文書館

資料紹介 平成から令和へ 城山から若里へ 揮毫帳城山館／鉄道記念切符／長野えびす講関係資料／長野市役所／未整理の資料

岐 阜 県

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園内 Tel058-265-0010

1985年創刊

◇103 2019.10 A4 8p

企画展「ちょっと昔の道具たち」(令和2年3月15日(日)まで開催)

表紙：近藤龍夫氏撮影(岐阜市歴史博物館蔵)

企画展「ちょっと昔の道具たち」

加藤栄三・東一記念美術館「栄三・東一の愛した生きものたち」

加藤栄三・東一記念美術館「栄三・東一とゆかりの画家たち」

館蔵資料紹介

江戸より長崎街道図巻 紙本著色 寸法：34.8×693.0cm

静 岡 県

◆静岡県近代史研究 静岡県近代史研究会

〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室

年4000円 1979年創刊 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇44 2019.10 A4 102p 1500円

総会記念講演録 今日の時点で維新変革を考える

宮地 正人

盲(啞)学校と慈善事業

足立洋一郎

葡萄酒竹紙製造所・鉤玄社―静岡県明治前期産業史の一ノート

加藤 善夫

資料紹介

静岡編成部隊の戦争栄養失調症関係資料
中部電力浜岡原子力発電所建設「協力金」関連資料

村瀬 隆彦
竹内 康人

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇494 2019.11 A4 4p 100円

11月例会レジュメ

「島田事件」救援運動の歴史研究—1960年代～70年代を中心に 船津かおり
総会で決定したこと

嫌韓を拒否して、韓国ソウルへ行こう！ 清水 実

◇495 2019.12 A4 4p 100円

12月例会レジュメ 近代盲教育の形成過程における特質 足立洋一郎

2018年度 静岡県近代史研究会決算報告

「静岡県にあった日輪兵舎」の補正など 加藤 善夫

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-35 <http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇173 2019.10 A4 8p

第1回例会報告—磐田市見付天神裸祭 出版記念講演会 (川口)

茶農家の暮らしと茶草場の関わり—世界重要農業遺産システムを契機

とした「暮らしを調べること」の展望 山川 志典

シリーズ食(40) 井川のトイバ飯 外立ますみ

静岡の民俗語彙・方言短信 タンヨリ 外立ますみ

愛 知 県

◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫

〒445-084西尾市亀沢町480 ☎0563-56-2459 2004年創刊

<http://iwasebunko.jp>

◇63 2019.9 A4 4p

岩瀬文庫特別展 『新編西尾市史 資料編1 考古』刊行記念 「考古
遺物の美と謎」／次回予告 全国お茶まつり協賛 西尾市岩瀬文庫
企画展「茶～岩瀬文庫資料にみる茶のさまざま」

第14回にしお本まつり／『新編西尾市史 資料編1 考古』刊行記念

愛知こどもの国 古墳探検ツアー

表紙の資料 とうてい山古墳にて(昭和39年)

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛西市塩田町砂山25 Tel0567-37-0441 年5000円

◇604 (59-6) 2019.11 B5 8p 600円

表紙写真のことば

潮来市大生神社の巫女舞 茨城県潮来市大生 11月第三日曜

坂本 要

埼玉・上野獅子舞

石川 博司

三信遠地域の民俗芸能から日本民俗学を学ぶ…

「西浦田楽」再訪記(2)

米津 俊裕

新刊紹介

無形の民俗文化財記録 第63集 盆行事Ⅷ 徳島県 文化庁

岡田 一郎

三 重 県

◆伊勢郷土史草 伊勢郷土会

〒516-1103伊勢市津村町786-7 1973年創刊

◇53 2019.10 B5 101p 1300円

丸岡宗大夫正孝と「昔話」について

丸岡 正之

伊勢の庚申信仰について一石造物を通して

藤原 寛

僧永意の名が見られる朝熊山出土陶製宝塔と草木の開けずの壺、普門

寺の起請木札について

津田 守一

令和元年に想う 改元二題・神都にかかわる瑞雲と辛酉革命のこと

石井 昭郎

寺子屋考察 (3) 師匠について／(4) そろばん＝算盤について

吉田 興治

伊勢郷土史会 「第三〇回三銀ふるさと三重文化賞」受賞

阿形智恵子

伊勢郷土史会第五三七回例会 湖東三山見学記

中村 保

資料紹介 『いにしへの伊勢』—古写真で見る戦前の伊勢市

山田 修司

◆織豊期研究 織豊期研究会

〒514-8507津市栗真町屋町1577 三重大学教育学部 日本史研究室内

Tel059-231-9218 年1500円 1999年創刊

◇21 2019.10 B5 144p 1500円

巻頭口絵 (寛永三年)十二月七日付藤堂高虎宛小堀政一書状

《特集 『織豊期研究』第20号刊行記念シンポジウム「近世成立期の大規模戦争と国制」》

総論 慶長三年の豊臣政権

中野 等

各 論

- 豊臣政権から江戸幕府へー関ヶ原の戦いをめぐる政治史 谷口 央
大坂の陣における土佐藩山内家 長屋 隆幸
近世初期城普請技術の継承性ー大坂城再築を中心に 嶋野恵里佳
元和・寛永期の城郭に関する諸問題 高田 徹
一備後福山城・肥前島原城を中心に 司会・藤田達生
討 論 藤田 達生
徳川公儀の形成と挫折ー新出小堀遠州書状を素材として 福田 千鶴
史料紹介 九月十六日付加藤主計頭留守居宛豊田秀吉朱印状について 片山 正彦
書評 本多隆成著『徳川家康と武田氏ー信玄・勝頼との十四年戦争』 福田 千鶴
『織豊期研究』総目録（第11号～第20号）

滋 賀 県

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊

<http://www.biwako-arts.or.jp>

◇169（43-4）2019.10 B5 88p 584円

《特集 世界が見た大津絵》

大津絵 西洋人のまなざし シーボルトから2019年パリ展まで

クリストフ・マルケ

誕生・大津絵～速い！安い！緩い！

「旅する大量庶民」くすぐるキャラ

横谷賢一郎

柳宗悦と大津絵ー先見と限界

熊倉 功夫

柳宗悦と大津絵 楠瀬日年と大津絵

編 集 部

時空超え繋ぐ縁 パリ大津絵展訪問記

西原サキコ

今を生きる大津絵

大津絵キャラ 菓子、人形、お土産いろいろ

木津 勝

大津絵散策 大津百町まちあるきマップとともに

編 集 部

大津絵を描く 高橋松山と松風の会

三宅 貴江

大胆、破綻OK。「関西人」の流れ／魅力を若い世代へ

五代目高橋松山インタビュー

聞き手・三宅貴江

今を生きる大津絵 大津絵踊り もうひとつの宿場町残影

木津 勝

インタビュー 湖と生きる 信楽寸越窯・陶芸家 神山清子さん

土と炎と半世紀、「作品が語る」

聞き手・三宅貴江／写真・清水薫

海から京へ 古の大動脈 報告・塩津港遺跡(1)

さまよえる港 湖底に発見

横田 洋三

森が来た道(1) はげ山の歴史と復旧技術の革新

水田有夏志

万葉の旅人(2) 湖西の孤独な船路、家人想う

文と曲・林博通／画・鈴木靖将

ぶらり近江はっけん伝(10) 大津の瀬田川

岸野 洋

歴史の玉手箱(13) 外国貴賓のおもてなし 「王冠を賭けた恋」あの

王子も来県 国から機密費、万国旗の新造船で大歓待

大月 英雄

近江の懐(11) 門前町坂本 盛安寺の観音様、大津絵ギャラリー「胡

径庵」(加藤賢治)／拠り所 日吉さん(石川亮)

加藤賢治／石川亮

芸術研究家 待文麻呂の芸能話(9) ガマの油

京 都 府

◆京都民俗 京都民俗学談話会

〒603-8301京都市北区紫野北花ノ坊町96 仏教大学歴史学部 八木透研究室
気付 TEL075-491-2141 年4000円 1984年創刊

◇37 2019.11 A5 116p

半井真澄の護王神社―近代京都における和気清麻呂顕彰

村上 紀夫

八丈島における巫俗の変遷と現状

宮澤 早紀

愛媛県西条市における祭礼の拡張―屋台運行をめぐる規制と創出

倉田 健太

書 評

篠原徹著『ほろ酔いの村―超過密社会の不平等と平等』

川村 清志

伊藤廣之著『河川漁撈の環境民俗学』

渡部 圭一

新刊紹介

森隆男編 編集委員：山崎祐子・松田香代子『住の民俗事典』

橋本 章

金田久璋著『ニソの杜と若狭の民俗世界』

垣東 敏博

2018・2019年度京都民俗学会 談話会報告

◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル上生洲町221 キトウビル303 TEL075-
251-2371 年6000円 1963年創刊 <http://www5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/>

◇227 2019.10 B5 46p 1800円

下京住民の祇園祭―祇園会と山鉦巡行をめぐって

植木 行宣

日本統治下台湾における能舞台

王 冬蘭

書評 山田和人著『竹田からくりの研究』

鬼頭 秀明

紹 介

『北野天満宮 信仰と名宝—天神さんの源流』

京都市埋蔵文化財研究所編『御土居跡(西九条周辺)出土品』報告書

稲田秀雄「狂言「石神」の構想と演出—石神信仰との関連—」

例会報告要旨

能「草子洗小町」の作者像

大谷 節子

明治時代の都をどりについて

宝生 紗樹

◆史迹と美術 史迹美術同友会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内

TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊 <https://www.shibikai1930.com>

◇899 (89-9) 2019.11 A5 30p 916円

五輪塔雑攷 「明恵塔型五輪塔」について

加藤 繁生

古建築調査ノート(6) 妻飾

矢ヶ崎善太郎

第1058回例会 清水寺を訪ねて

加藤 友規

第44回「石像美術勉強会」報告 岐阜県郡上大和と白山長滝方面の文

化財 幹事：品角阿止美氏

川西きみ子

石造美術勉強会の八年間

品角阿止美

◇900 (89-10) 2019.12 A5 28p 916円

古建築調査ノート(7) 束と笄形

矢ヶ崎善太郎

石造美術勉強会特別講座「関東式石造品について」

講師：嘉津山清氏 報告者：田中康夫

第1059回例会口絵 御寺泉涌寺と周辺の文化財

加藤 繁生

第45回「石像美術勉強会」報告 宝塚市 千刈水源地方面の石造美術

幹事：高橋浩行氏・品角阿止美氏

大久保 修

2019年度 石造美術勉強会活動記録

品角阿止美

史迹と美術 第89輯(891～900号)総合目録

大 阪 府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204

年1200円 <http://www.eonet.ne.jp/~sanonokai/>

◇383 2019.11 B5 12p

府営羽倉崎団地あたりで東大寺再建用の瓦を焼いたか！

事務局

土地台帳にみる土地利用(4) 日根野

井田 寿邦

立石垂顕念典が生きた時代と人々(6)

第三章 立石垂顙を取り巻く人々(続) 立石 元
動向 調査「合祀前神社と寺院」を実施／新刊 地域の事典14 泉州
のことば

◇384 2019.12 B5 20p

天皇の即位儀式に参列した庶民が残した幕末の記録 下村 欣司
室町幕府中枢の動きと和泉(17) 八 三好政権の成立と展開 井田 寿邦
立石垂顙念典が生きた時代と人々(7) 第四章 立石家譜序文を読む 立石 元
伊勢河崎商人館へお伺いをして 北山 理
和泉の中世城郭(56) 井田 寿邦

◆大阪民衆史研究 大阪民衆史研究会

〒599-0223阪南市光陽台4-5-25 林耕二気付 TEL072-471-8601 1993年創刊
www.eonet.ne.jp/~minshusi/

◇72 2019.11 A5 138p 1000円

永井孝弘氏 特別幹部候補生の修養録(上)
ーアジア太平洋戦争末期の下士官候補生の訓練日誌より 高谷 均
濱口梧陵生誕二〇〇年記念寄稿
米国に残された濱口梧陵の足跡を探して 白岩 昌和
高鍋藩の廃藩にいたる部落史
一秋月氏「藩尾録四」までの藩日記を中心に 後藤 正人
真田山旧陸軍墓地が語る「プロパガンダ」 中下 秀夫
『五日市憲法』の先駆性一発見から50年、今学ぶこと
新井勝紘さん講演要旨

3.15事件治安維持法犠牲者・久木興治郎(後編)ー大阪のカルチュラタン

上野台地を駆け抜けた「外語社研」の群像 松浦由美子
グラビア 堺まち歩きフィールドワーク(北庄を中心に) 案内と文・竹田芳則
会員の編著書 小田康徳・大西進・小林義孝・森下徹ほか 河内の戦
争遺跡を語る会編『地域と軍隊ーおおさかの軍事・戦争遺跡』、大
阪民衆史研究会・島田耕二郎史料集成編集委員会『「立憲政体改革
之急務」島田邦二郎史料集成ー淡路島の「自由民権」と憲法構想』、
久保在久著『大阪砲兵工廠物語』、後藤正人著『兄玉花外の詩文と
生涯ー社会的ロマン派詩人』、成瀬龍夫著『比叡山の僧兵たちー鎮
護国家仏教が生んだ武力の正当化』、木津力松著『兵庫県社会運動
史研究』

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇422 (36-11) 2019.11 B5 8p

巻頭言 神のおやしること(45)

堀越神社(2) 熊野第一王子之宮

和久 敦也

令和元年10月例会報告(第396回)

『大阪学問所「懷徳堂」の儒教空間』 湯浅照弘氏

(報告・井川)

会員講座 第32回 「秤の歴史を読み解けば」一度量衡・秤座・秤改

磯崎素子氏

(報告・井川)

会員の書評 『水戸学と明治維新』歴史文化ライブラリー150

(吉田俊純著 吉川弘文館)

評者・加藤照也

◇423 (36-12) 2019.12 B5 8p

巻頭言 神のおやしること(46) 安居神社

和久 敦也

令和元年11月例会報告(第397回)『尼崎城のその後』—なぜ、完全に消

え去ってしまったのか 桃谷和則氏

(報告・和久)

令和元年度 秋の見学会報告 『住吉大社と住吉の津』

案内人・見学部会 和久敦氏・白須一信氏

(報告・和久)

会員の書評 『菅原道真』～学者政治家の栄光と没落

(滝川幸司著 中公新書)

評者・加藤照也

◆かいづか文化財だより テンブス 貝塚市教育委員会

〒597-8585貝塚市畠中1-17-1 TEL072-433-7126 1996年創刊

◇69 2019.10 A4 8p

企画展「貝塚市の遺跡を掘る—昭和・平成の調査を振り返って」 地

蔵堂遺跡で古墳を発見 昭和56・60年度、平成15年度調査／貝塚寺

内町遺跡の発掘調査 平成4年度調査

夏休み子ども向け企画「拓本講座」／小学校巡回展示「貝塚の古墳」

東京オリンピックと貝塚—貝塚市歴史展示館の展示資料から(1)／市

役所本館で文化財のミニ展示を開催しています

古文書講座—市内にのこる身近な古文書 江戸時代の抜け荷と異国船

／古文書講座60(通算287回～291回)開催のお知らせ 「江戸時代の

凶作と歎願」

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円

◇840 2019.11 A4 8p 300円

倭姫命の伊勢巡幸 (5) 一北伊勢から中伊勢へ
尼崎城を訪ねる一中世から近世、平成へ

岡田 登
天野 忠幸

◇841 2019.12 A4 10p 300円

「邪馬台国」とその時代

森下 恵介

義士のふるさと「赤穂」と北前船の寄港地「坂越」をめぐる

大澤 研一

木津川左岸の古墳と古社寺(2)―古代の山陽・山陰道に沿って

泉森 皎

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9 上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊

<http://www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/>

◇97 2019.10 A5 64p 1500円

《前編集長 中村修氏追悼号(2)》

巻頭言 世界遺産登録の百舌鳥・古市古墳群と神

河越 尚司

道鏡の仏教

寺西 貞弘

有間皇子の真実と斉明天皇の思い

平林 章仁

追悼 中村修さん(2)

中村さんとの出会い、『古代史の海』

上遠野浩一

信じられない訃報

河越 尚司

小休止・会員広場

アンデス通信(50) マルチエスニシティをめぐる

市木 尚利

資料紹介「今昔マップ」

上遠野浩一

「白鳳期」についての一考察―その始まりと推移

山下 輝幸

垂仁記「尾張之相津」再考

尾関 章

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511

<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇611 2019.11 B5 26p

10月・第672回例会の報告

丹波 八木城を訪ねる 担当幹事：小川実・下岡力

報告・下岡 力

今どきのお城事情

川端 義憲

後北条氏の支城 小机城へ

水品 弘樹

よみがえる大友氏館跡の庭園

川端 義憲

赤松氏の白旗城

高菅 純子

別冊 第673回例会 令和元年(2019)11月10日

越前・近江 玄蕃尾城を訪ねて 担当幹事：下岡力・藪西旭

◇612 2019.12 B5 32p

11月・第673回例会の報告

越前・近江 玄蕃尾城を訪ねて 担当幹事：下岡力・藪西旭 報告・下岡 力
テレビ和歌山制作『南海の鎮』が再放送されます。

丹波八木城のこと

川端 義憲

石見国「益田七尾城・三宅御土居跡」探訪

下岡 力

北海道・道南の城を訪ねて(1)

志苔館／上之国勝山城／花沢館／洲崎館／茂別館

坂本 昇

別冊 第674回例会 令和元年(2019)12月15日 近江 虎御前山砦を訪

ねて 案内講師：中井均教授 担当幹事：中西徹・森田又一

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/>

◇382 2019.11 B5 20p

豊中歴史同好会創立三十周年記念

シンポジウム 邪馬台国の実像に迫る パネルディスカッション

パネリスト 西川寿勝・岸本直文・小山田宏一・福永伸哉／会場参加 森

田克行・森岡秀人・塚口義信・下條信行／コーディネーター 柳本照男

芦屋市東部の遺跡を訪ねる

山口 久幸

◇383 2019.12 B5 16p

『播磨国風土記』の巨石伝承—石宝殿をめぐって(上)

荊木 美行

読書室 特別展・図録『樹木年輪と古代の気候変動』

大阪府立狭山池博物館 A4判オールカラー90ページ 定価340円

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学文学部 井上研究室気付

1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>

◇276 2019.10 A5 133p 900円

口絵 特集 土塔一行基・土師氏

特集 土塔一行基・土師氏

特集にあたって

大阪歴史学会企画委員会

現地見学検討会(土塔一行基・土師氏)報告

北山 峰生

土塔の建立とその背景

近藤 康司

地域からみた大野寺土塔の造営	溝口 優樹
土塔に関する諸問題	鈴木 景二
頭塔の造営と系譜に関する一考察	大西 貴夫
「倚廬」再考	井上 正望
明治維新时期における天台宗と延暦寺	藤田 和敏
地域の歴史を守り伝える	
丹波篠山市立中央図書館での地域資料整理サポーター活動	岩瀬 秀子
書 評	
武内善信著『雑賀一向一揆と紀伊真宗』	新谷 和之
中西啓太著『町村「自治」と明治国家—地方行財政の歴史的意義宗』	袁 甲幸
白川哲夫・谷川穰編『「甲子園」の眺め方—歴史としての高校野球』	佐藤 彰宣
報告 二〇一九年度「第三五回歴史学入門講座」の記録	田中 昇一

兵 庫 県

◆家系研究 家系研究協議会

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921

年5000円 1981年創刊 <http://www.geocities.jp/kakenkyou/>

◇68 2019.10 B5 115p 1500円

武蔵国丹党の起源と習俗(下)	宝賀 寿男
話滴 岸和田本徳寺の明智光秀位牌	安居 隆行
山陰地方の湯一族について(2)	田村 紘一
紀州藩士三井氏の系譜	三井 久安
肥後(熊本藩士)の山形氏について(7)	相良 一夫
伊勢楠氏 楠山楠氏(下)	岡田 有史
鎌倉・南北朝期の小笠原系譜に関する一考察	真野 信治
薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話 刀鍛冶の里(10-2)	浪平 博司
表紙家紋「海老の丸」	馬原 浩一

◆家系研究協議会会報

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921

年5000円 2002年創刊 <http://kakenkyoug2.xrea.com>

◇70 2019.10 B5 8p

ラグビーワールドカップで思うこと	馬原 浩一
------------------	-------

家系研究協議会 令和元年度 夏の例会報告 「甲斐武田家臣板垣
氏の子孫が所持していた織田信長朱印状について」 本会会員荒木幹
雄氏 (馬原)
書評 『戦国誕生』—中世日本が終焉する時 渡辺大門著 加藤 照也

◆地域史研究 尼崎市立地域研究史料館紀要

〒660-0881尼崎市昭和通2-7-16 総合文化センター 7階 TEL06-6482-5246

1971年創刊 <http://www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp>

◇119 2019.11 A5 201p 850円

大坂城代制成立期における大坂城代と尼崎藩主

—青山宗俊と青山幸利を中心に

宮本 裕次

尼崎藩時代における青山家の事績と「青大録」

河野 未央

寛保三年発行の西宮銀札—尼崎藩の銀札通用規制から

岸添 和義

大谷重工業尼崎工場への四国からの勤労学徒

湯田 拓史

武庫之荘文化会の収支決算—1970年代以降を中心に

出口 雄大

史 煙

塚口での空襲体験

中山 房子

宝塚尼崎電気鉄道の線路と県道42号尼崎宝塚線

井上 衛

続・近世尼崎城残石探し

中川雄三／佐藤功

万丈堤防と村会認定の石柱

中村 光夫

史料編 尼崎の古代・中世—史料と研究 連載第6回

尼崎市史古代・中世史料補遺(6)

天野忠幸／樋口健太郎

義経大物浦遭難小攷

樋口健太郎

細川高国および典厩家と尼崎城

天野 忠幸

尼崎市役所『最近四年間ノ事績 並将来ノ諸問題』

1924年(大正13)—(前半)

森本 米紀

あまおぶね連載(3) 西昆陽春日神社

田中 敦

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇620 2019.11 B5 8p

秋の見学会 丹波綾部の郷の旅 ご案内

堀内 陽光

ブラジル、コチア産業組合と下元健吉・亮太郎兄弟のこと(2)

二宮 健

少年と神社の森—出会いと再会

小西 巧治

会員活動報告 令和を彩る「おりょうの万葉浴」

中村宏／山本純子

◇621 2019.12 B5 8p

西宮の洋画家 辻愛造(3)

枝松 亜子

「五感によるひとづくり、ものづくり、まちづくり」：池永寛明氏大い

に語る、西宮文化協会、十月行事

江寄健一郎

会員活動報告 「飛鳥・藤原」を世界文化遺産に！

中村宏／山本純子

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551

年3000円 1962年創刊

◇336 (58-5) 2019.9 A5 49p 600円

《特集 忘れられた近世地域遺産を掘り起こす》

丹波市中竹田の伊都伎神社の獅子狛犬と宮講

山内 順子

古地図に見る地名(3) 魚屋道一幕府公認の六甲山間道

大国 正美

江戸時代、淡路島海難救助の仕組みとその実態

海部 伸雄

旧有馬郡・旧美濃郡東部域の二宮金次郎像(下)

上垣 正明

兵庫県西国街道一里塚(2) 加古川市平岡町西谷

中村 和男

「火垂る墓」記念碑建立へ協力をお願い

新聞新聞地域版を読む

神戸新聞の文化財記事(2014年8月2日～8月7日)

大国正美／有吉康德

奈良県

◆秋篠文化 奈良芸能文化協会

〒631-8511奈良市西大寺東町2-4-1 ならファミリー 6階 秋篠音楽堂運営協議

会「伝統芸能部会」 TEL0742-35-7070 2003年創刊

◇12 2019.2 A5 102+107p

牧野英三氏による

大和の《祭・祝歌・行事》《踊歌》《座興歌》の歌詞と楽譜

久保田敏子

資料 題目立の旋律構造について

牧野 英三

ナメデ踊り考—大和国中の雨乞念仏踊り

佐々木聖佳

描かれた大和の太鼓踊り

鹿谷 勲

資料 風流踊の芸能と伝承基盤—大和の太鼓踊を中心に

岩井 宏實

大和のうた～踊歌・祝歌ほか～(付録音源CD目次)

秋篠音楽堂 伝統文化公演の記録

『秋篠文化』総目録(創刊号～11号)

◆LUCIFER ルシファー 水平社博物館

〒639-2244御所市柏原235-2 TEL0745-62-5588 1999年創刊

<http://www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/>

◇22 2019.10 A5 54p

企画展・特別展

第19回企画展「いつか みてみたい みらい～時を越えるおもい～」

駒井 忠之

第22回特別展「水平社宣言をよむー全国水平社の創立と人権宣言ー」

を開催して

藤永沙也加

公開講座報告 2018年度第1回公開講座「部落解放同盟奈良県連合会

再建六〇周年 部落解放運動のこれまでとこれから」

伊藤 満

事業報告

「第10回(2019年度)奈良人権文化選奨」表彰

2019年度「“熱”と“光”のショートレター」各部門受賞者を表彰

和歌山県

◆熊歴情報 熊野歴史研究会

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市役所商工観光課 山本殖生

TEL0735-23-3333 年3000円

◇215 2019.10 B5 2p

九鬼水軍の足跡を訪ねるツアー／熊野三山歴史講座／世界遺産登録15

周年記念「熊野参詣道の過去・現在・未来」／新宮市立歴史民俗資

料館特別展「近世の新宮と水野家」／『一遍上人と熊野本宮』桐村英

一郎先生／事務局より

島根県

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 TEL0853-53-4966

年2500円 1974年創刊 <http://www.taisha-shiwa-kai.jp>

◇200 2019.11 B5 54p

表紙 鷺浦のシャギリ 藤井健蔵氏提供

巻頭言 『大社の史話』第二〇〇号発刊に当たって

山崎 裕二

出雲大社の宝物シリーズ(6) かむだからー出雲大社教機関紙『幽頭』

より 二重亀甲剣花菱紋蒔絵文台・硯箱(重要文化財)／赤絲威肩白

鎧 兜・大袖付(重要文化財) 出雲大社教務本庁幽顕社
 座談会 『大社の史話』のこれまでとこれから
 馬庭孝司／山崎裕二／稲根克也／岩成俊策
 『後拾遺往生伝』良範伝から探る平安時代の稲佐の浜像
 一「日が沈む聖地」についての仏教史的考察(上) 杉原 諒
 「大社の文化を学ぶ・受け継ぐ・創る」シリーズ(12)
 鷺浦の伝統行事の保全会活動について 藤井 健蔵
 「出雲地域の歴史と文化」シリーズ(15の2)
 史料紹介 明治時代の三瓶温泉紀行(下) 中山 玄貴
 令和元年度 いずも弁川柳 出雲市立大社中学校
 読者コーナー
 懐かしい話 大社町への感謝 西六小学校卒業生(当時六年生)
 高田康子(旧姓波根)
 読後感 本誌一九九号を読んで 荒木八洲雄
 書籍紹介 出雲大社の宝物と門前町の伝統～特集『吉兆神事と神謡・
 船謡』公益財団法人いずも財団・出雲大社御遷宮奉賛会共編 稲根 克則
 東京国立博物館特別展 日本書紀成立1300年特別展「出雲と大和」
 島根県立古代出雲歴史博物館
 手銭記念館の四季 布志名焼の文明開化 佐々木杏里
 出雲弥生の森博物館 ギャラリー展Ⅱ 没後180年 西山砂保一出雲の
 近代医学の先駆け 出雲弥生の森博物館(文責・高橋周)
 平成31年(2019)4月～令和元年6月 出雲市大社町年表 編集部
 「大社の史話」目次集191号～200号 編集部

岡山県

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28 光珍寺内 TEL086-222-2028 年2000円
 2002年創刊

◇72 2019.10 A4 10p

関ヶ原合戦において宇喜多勢はどう戦ったか?(3) 小川 博毅
 近年の宇喜多氏研究をめぐって(2) 大西 泰正
 平成三一年宇喜多家史談会総会記念講演
 河本家版宇喜多家譜について(3・前号継承) 矢吹 壽年
 軍記物・地誌等が語る宇喜多直家の「仇討談」について(2・前号継承)
 島村 豊

◆岡山藩研究 岡山藩研究会

〒169-8051東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学教育学部 大橋研究室気付

<http://okayamahanwaseda.seesaa.net/?1465280813/>

◇87 2019.11 B5 8p

〈第26回総会の記録〉

報告要旨 日光社参と幕府・藩・民衆一天保十四年日光社参を中心に

泉 正人

参加記

泉正人報告「日光社参と幕府・藩・民衆一天保十四年日光社参を中

心に一」参加記

深谷 克己

泉正人氏の報告を聞いて

大森 映子

◆岡山人俗学会会報

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14 難波俊成方 年4000円

<http://okayamaminzokugakkai.web.fc2.com>

◇223 2019.11 B5 8p

故・竹内平吉郎理事の蔵書等について

吉原 睦

投稿 赤磐市穂先の報恩さま

平松 典晃

研究発表大会発表要旨

旭川中流域の棒つかいにみられる武術・散楽・演劇の要素について

大倉 寿仁

佐藤清明の「現行全国妖怪辞典」について

木下 浩

もう一つの桃太郎伝説—山梨県大月市の事例から

加原奈穂子

研究発表大会発表要旨 岡山市内中心部表町商店街の秋祭り

田中 豊

学会記事 民俗歩く会 1回目 テーマ「備中総社 まちかど見分」、

2回目(予定) テーマ「角田直一のふるさと下津井を歩く」

広島県

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 <http://bingo-history.net>

◇210 2019.11 A4 20p

鷹取城は何処にあったのか

田口 義之

研究レポート

神辺城の惣構を考える(2)―地形から見た神辺城下の構造	瀬良 泰三
研究メモ 農民は農業以外に何で稼いだか	田口 由実
近世福山の歴史講座 草戸中道山明王院圓光寺	高木 康彦
ワンショット・レポート～シンポジウム福山城「神辺城の謎に迫る」	
／ワンショット・レポート～ぶら探訪「クイズで巡る福山城」	
調査報告	
中世石造物の調査報告	
山手銀山城跡測量調査報告	杉本 憲宏
辻堂百景(21) 福山市加茂町「六斎堂」	秋山 由実
尾市古墳と備後国府・国分寺 一、尾市古墳の被葬者	若林 啓文
ワンショット・レポート～バス例会「吉田郡山城&多治比猿掛城」	
根岸氏遺稿 福山城四隅櫓と鎮守神社	根岸 尚克
田口義之の備後山城50選(35) 備後三吉氏の拠点 比叡尾山城跡	
備後史談 児島五龍尊流院と油木吉備津神社	桑田 幹夫
大分便り 賢女「起世の碑」	後藤 匡史

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇344 2019.11 B5 12p

今月の各地 語り継ごう! 三原の戦跡	松田 治三
三原遠野氏の支配(完結編)	橋本 敬一
三原における「安政南海地震」について	
一東町4丁目「神明当屋帳」の記録	定森 總治
令和元年 春のハイキングコースにあった思い出(1)	高杢 勉

◇345 2019.12 B5 12p

今月の各地 毛利家・安芸の吉田までの116年	下西 勝彦
三原浅野氏入城四百年記念行事 「三原城跡を歩こう」を終えて(1)	事務局
令和元年 春のハイキングコースにあった思い出(2)	高杢 勉

山 口 県

◆山口県地方史研究 山口県地方史学会

〒753-0083山口市後河原150-1 山口県文書館内 TEL083-924-2116 1954年創刊
http://www.yshlh.jp

◇122 2019.11 A5 144p

乃美宗勝関係文書と浦元敏	赤井 弥
--------------	------

萩藩の天然痘予防接種について	石川 敦彦
木戸孝允は「討幕」を唱えたのか	下田 悠真
高杉晋作における海事志向とその意義	
―船乗りにならなかった理由の検討を踏まえて	牛見真博／國枝佳明
明治二十五年の山口県小学校への「御真影」配布について	
―大津郡役所文書を中心に	木京 陸人
大内塗の作例研究―明治時代の大内塗再興期を中心に	山本 真美
勝山御殿跡の文化財的価値	中原 周一
史料紹介 新出「玉木彦介日記」と吉田松陰の添削指導	三宅 紹宣
調査と探求 「漂着の華道」―下関東部地区に根づいた興福寺の立華 (御門流古式立花)	日高栄美子
歴史散歩 他郷に遊ぶ―明治時代の修学旅行日記から	重田 香澄
書評・論文評 松本あづさ「エトロフから長崎へ―蝦夷地に漂着した 異国人の長崎護送制度の成立―」	鴨頭 俊宏
地方だより 大島地区／熊毛地区／下松地区／山口地区／美祢地区	
発表要旨 第130回研究大会	
徳山藩断絶要因実証の試み	
―萩藩主毛利吉元の主張と徳山藩主毛利元次の実際	吉田 真夫
徳山藩における医学教育―藩校・興譲館と徳山藩の名医	兼崎 人士
徳山毛利家文庫の活用について	
―NHKファミリーヒストリー制作に関わって	栗崎 健
「地方史文庫」受贈図書目録(～2019年9月受付)	

愛媛県

◆いせき ニュースレター 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 FAX089-905-2925

◇133 2019.11 A4 20p

四国中央市の古墳(13) 東塚穴窪古墳・西塚穴窪古墳 正岡 睦夫
伊予の近世城郭石垣構築技術(3)

宇和島市尾串森三島神社のシノギ積み石垣 十亀 幸雄

◇134 2019.12 A4 28p

松山市浅海における緑泥片岩使用の箱式石棺(下) 河原茂／正岡睦夫
明見山古墳・天満宮古墳

四国中央市の古墳(13) 四ツ手山古墳 正岡 睦夫

豊後から移入された宝塔(3)

宇和島市曾根宝塔と由布市川廻墓地宝塔
遺跡発行会だより 11月例会報告

十亀 幸雄
報告・山之内史郎

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇395 2019.10 A5 53p 750円

古代宇和郡の贅関係木簡をめぐって

岡田 利文

鎌倉時代伊予国支配の構図と地域

佐伯 徳哉

近世伊予大洲における雅楽文化

山田 淳平

歴史余話 地方史研究協議会の活動と課題について

一四国、伊予史談会との関係から

吉田 政博

書評 光成準治著『小早川隆景・秀秋』

川島 佳弘

郷土その日その日 令和元年5月

編集部(柚山俊夫)

例会記事 第1249回 発掘成果から読み解く河後森城の歴史 高山剛

氏、広瀬邸の成り立ち 久葉裕可氏／第1250回 国史跡等妙寺境内
の調査成果について 幡上敬一氏、松山城絵図を読み解く―「亀郭
城秘図」を中心に 井上淳氏／第1251回 宇和郡三間岡本合戦の年
代考 中平景介氏、河野氏と能島村上の関係について 桑名洋一氏

長 崎 県

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0052五島市松山町604-10 筑田俊夫方 TEL0559-74-2667

◇108 2019.11 A5 118p

身近な風景に地球を感じる五島ジオパネル

清野 聡子

ジオパークを目指して(2) 石の神秘に驚く

永治 克行

ある偶然(2)

竹山 和昭

京の片隅で(5)

伴 靖子

本で出会う故郷

大坪 昇平

山田和子さんを追悼して

佐々木祥一

「五島」に生きる「私の遺言」(3)

片山 圭弘

王直と五島についての雑稿

櫻井 隆

続 久賀島人物伝

内海 紀雄

宮 崎 県

◆石の証言 「八紘一宇」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊

<https://hakkouitiunotou.jimdo.com>

◇93 2019.11 A4 8p

石の証言 朝鮮癩予防協会 60×45 花崗岩

第6回「空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会」宮崎
集会

宮崎の皆様

工藤 洋三

実施要綱 空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会実行

委員会

「あいちトリエンナーレ」

「主戦場」11月4日上映へ 川崎・映画祭 批判の広がり受け 文責・編集部

宮崎県日中友好運動懇談会 「写真で見る宮崎県の戦争遺跡」発刊へ

トピックス 首里城／天孫降臨神話が現れた!?

韓流時代劇について

税田啓一郎

沖 縄 県

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963

年3000円 1977年創刊

◇235 2019.11 B5 8p

11月定例会レジュメ

宮古島市総合博物館開館三十周年記念特別展示「宮古の宝 三十選
展」展示案内

與那覇史香

最近の発見にみる旧西中共同製糖場煙突について

久貝 春陽

池間島ユーイク巡拝路を巡る～十月定例会後記

松川 知恵

地域の特色ある埋蔵文化財公開活用事業 第3回稲村賢敷生誕一二五

年記念シンポジウム 海域アジアの倭寇について考える

久貝 弥嗣

第十四回宮古島市民総合文化祭「城辺地区の史跡巡り」

久貝 春陽

宮古島市総合博物館開館三十年に思う

新田 由佳

日本島嶼学会宮古島大会開かれる

下地 和宏

忠導氏仲宗根家の清掃について

宮古史上ゆかり多い二〇一九年!

仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆海と漁業—漁村家屋にみる文化的景観

一般社団法人日本民俗建築学会2019年度公開シンポジウム

日本民俗建築学会編・刊（〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-33 法政大学デザイン工学部建築学科内）2019年10月 A4 12頁

2019年10月21日に京都府宮津市鶴賀（みやづ歴史の館文化ホール）で開催された日本民俗建築学会シンポジウムの記録。公開シンポジウム開催にあたって（宮崎勝弘）／趣旨説明 舟屋集落の形成と保全—伊根浦を中心に（河原典史）／報告1 「宮津天橋立の文化的景観」と溝尻舟屋群（河森一浩）／報告2 伊根町伊根浦重要伝統的建造物群保存地区の選定に至るまでの経過と現状（倉野基博）／パネルディスカッション（パネリスト：河原典史・河森一浩・倉野基博、司会：高木良枝）

◆品川歴史館特別展 中世寺院と品川—妙国寺の歴史と寺宝

品川区立品川歴史館編・刊（〒140-0014 東京都品川区大井6-11-1 TEL03-3777-4060）2019年10月 A4 149頁

品川区立品川歴史館の令和元年度特別展の展示図録。東京都指定文化財「妙国寺文書」と品川区指定文化財「宝塔絵曼荼羅」の修復完了を受けて、平成20年度から寄託されている天妙国寺（旧称、妙国寺）の寺宝の数々を中心に、弘安8年（1285）の開創以来、寺とともに繁栄した中世品川の様相を紹介する。プロローグ「妙国寺絵図」の世界 妙国寺と『妙国寺絵図』／妙国寺のはじまり（妙国寺のはじまり—天目から日叡、日什門流の祖 日什）／中世品川の発展と寺院（港湾都市の発展と有徳人の活躍、日什門流寺院の展開、中世の文化的成熟、特論 躍動する都市寺院—中世品川の多様な寺々（柘植信行））／妙国寺の寺宝と品川（戦国時代の品川と妙国寺、人々のくらし 寺院のくらし、特論 妙国寺北遺跡出土中世石塔部材の検討（本間岳人）、妙国寺の寺宝）／中世から近世へ（徳川将軍家と妙国寺、伽藍の再建と門前町の形成）／よみがえる文化財（文化財の修復—宝塔絵曼荼羅・妙国寺文書、文化財を残す—修復の痕跡）／コラム 七堂伽藍、妙国寺と天妙国寺、日蓮宗の門流、失われた徳川将軍家の朱印状／付録 掲載資料目録、主要参考文献

◆佐渡郷土資料目録 1600（慶長5）年～2019（平成31）年

Sado native district documents list

北見継仁編著（〒952-1212 新潟県佐渡市泉甲220）2019年6月 A4 572頁
新潟県佐渡郡金井町（佐渡市）教育委員会にて文化行政に携わっていた著者が、約30年にわたり蒐集した1600（慶長5）年～2019（平成31）年4月30日までに刊行された佐渡に関する郷土資料について、発行年ごとに書名・編著者・発行所を配列・収録した資料目録。歴史・民俗・地理等の人文科学に関するものを中心に、自然科

学の文献も収録する。慶長5(1600)年～慶応4(1868)年／明治1(1868)年～明治44(1911)年／大正1(1912)年～大正14(1925)年／昭和1(1926)年～昭和19(1944)年／昭和20(1945)年～昭和63(1988)年／平成1(1989)年～平成31(2019)年／おわりに

◆六日町史 通史編 1 自然・先史・古代・中世

南魚沼市教育委員会編・刊 (〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町865 TEL025-773-6770／〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町456-1 南魚沼市教育委員会社会教育課郷土史編さん係 TEL025-773-2197) 2019年11月 A5 565頁

平成16年に六日町と大和町が合併して誕生した南魚沼市の郷土史編さん事業として継続中の『六日町史』『大和町史』。本書は、既刊の『六日町史』通史編第2巻(近世 平成27年)、通史編第3巻(近現代 平成30年)に続き、資料編第1巻(先史・古代・中世 平成28年)に掲載された資料をもとに六日町の自然・先史・古代・中世についてまとめた通史編第1巻。

〔自然編〕第一章 六日町地域の地形・地質／第二章 気象と気候／第三章 動物と植物／自然編 主な参考・引用文献

〔先史・古代編〕第一章 氷河期を生きた狩猟の民／第二章 雪国における狩猟採集社会としての縄文文化／第三章 山里の農耕文化一弥生時代／第四章 古墳の造られた時代／第五章 領域支配の始まり／第六章 人々のなりわい／第七章 六日町地域の先史・古代研究)／《先史・古代編》主な参考・引用文献

〔中世編〕第一章 上田荘と長尾氏／第二章 中世の地域社会／第三章 長尾房長の時代／第四章 長尾政景の時代／第五章 長尾喜平次とその時代／第六章 御館の乱／第七章 上杉景勝の時代／第八章 戦国時代の地域社会／第九章 六日町地域とその周辺の城／《中世編》主な参考・引用文献

◆天皇陛下御即位記念 即位礼と大嘗祭 皇學館大学佐川記念神道博物館特別展 皇學館館大学研究開発推進センター編・刊 (〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704 TEL0596-22-6466) 2019年5月 A4 20頁

皇學館大学佐川記念神道博物館特別展の概説書。はじめに／皇室の源流／整備された皇位継承儀礼一平安時代／即位礼の延引・大嘗祭の中絶から朝儀の復興へ／近代から現代へ一明治の改制・登極令に基づく儀式／大嘗祭／おわりに／参考文献／即位礼 『儀式』巻五「天皇即位儀」に基づいた、平安時代の即位式次第／大嘗祭 『儀式』巻二・三・四「踐祚大嘗祭儀」に基づいた、平安時代の大嘗祭次第

◆天皇陛下御即位記念 即位礼と大嘗祭

皇學館館大学研究開発推進センター編・刊 (同上) 2019年10月 A4 131頁
皇學館大学佐川記念神道博物館特別展の図録。ごあいさつ(河野剛・大島信生)／歴代天皇一覧／即位式と大嘗祭一普遍と固有(加茂正典)／皇室の源流／コラム 大嘗祭のはじまり(荊木美行)／整備された皇位継承儀礼／コラム 小原家文庫に

ついて(大平和典)／朝儀の復興へ／コラム 「東山天皇御即位式・靈元上皇御讓位行列図屏風」にみる即位図屏風(岡野智子)／近代から現代へ／コラム 鈴木重胤と皇學館大学(佐野真人)／大嘗祭一斎田の卜定／コラム 鈴鹿家資料(加茂正典)／大嘗祭の諸儀式／コラム 生田神社名誉宮司 加藤隆久氏所蔵の即位礼・大嘗祭関係資料について(佐野真人)／図版解説／参考文献／出品目録

◆続 知られざる郷土史 津とその周辺

浅生悦生編 (〒514-2305 三重県津市安濃町清水1008 TEL059-268-2671) 2019年10月 A5 362頁

長年にわたり津市をはじめとする三重県の文化財行政に携わり、三重郷土会の常任委員もつとめる著者のわかりやすい津郷土史『知られざる郷土史』(2017年6月)の続編。公民館における郷土史講座などの講義内容23編をもとに再編集する。はじめに／母なるムラ、納所遺跡―伊勢平野最大の弥生遺跡／中勢の首長墳／長谷山群集墳のなぞ／須恵器の里／古代の道と駅家／古代の耕地整理―安濃川の条里制／都からの仏教文化―津四天王寺／「山中に都あり」―埋もれた北畠氏の城下／長野氏と中世の城跡／津にもあった鉄火起請／すばらしき、専修寺の文化財！―国宝・建造物を中心に／津藩の寛政大一揆と村々の百姓／安濃、『式内阿由太社』と神像・宗源宣旨／稲垣定穀と切支丹史料／瀬戸岩船御遊覧と家城景勝を詠む／伊勢別街道―その歴史と宿場／大塩平八郎と津／『孝女登勢伝』／無足人の江戸滞在―「道中手前覚書」／第一回帝国議会見学と『東京行日記』／上富良野開拓の草分け 田中常次郎から吉田貞次郎へ／津の近代化―明治・大正期／津の地名―その語るもの／あとがき

◆明智光秀は生きていた 謎に包まれた生涯とその最期

川口素生著 K K ベストブック (〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-11 麻布エスビル3階 TEL003-3583-9762) 2019年10月 B6 215頁 1400円

なぜ、明智光秀は主君の織田信長を討ったのか？ そして、その後の光秀の運命は？ 本能寺の変のミステリーと明智光秀の最期に迫る。実はよくわからない明智光秀の最期―「はじめに」にかえて／明智光秀は自刃しなかった！／光秀の前半生は謎だらけだった！／織田信長・森蘭丸は生きていた！／光秀は高僧・天海として生きていた！／光秀は畿内や美濃山中で生きていた！／光秀＝天海の埋蔵金は実在する！／光秀の子孫は生きている！／主要参考文献一覧

◆第27回企画展 国衆からみた光秀・藤孝―丹波・乙訓と織田権力

大山崎町歴史資料館編・刊 (〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎竜光3 大山崎ふるさとセンター内 TEL075-952-6288) 2019年10月 A4 40頁

大山崎町歴史資料館の令和元年第27回企画展の図録。織田信長のもとで丹波および乙訓・西岡の分国統治を任されていた明智光秀と細川藤孝。その地域にの村落にいた国衆と呼ばれる侍たちの視点から二人の武将のあり方を見直し、当時の地

域社会の変化について考える。細川藤孝と乙訓・西岡／乙訓と丹波のあいだ 外
畑村と織田権力の武将たち／明智光秀と丹波の国衆／解説 国衆からみた光秀・
藤孝－丹波・乙訓と織田権力／資料解説／展示品目録／参考文献

◆講座『播磨風土記』讃容郡・逸文(全／語釈・注釈)

妙見山麓遺跡調査会紀要31

神崎勝著 NPO法人妙見山麓遺跡調査会(〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加
美区的場294 TEL0795-35-0555) 2019年10月 A4 28頁

妙見山麓遺跡調査会主催の風土記講座『播磨風土記』讃容郡および逸文の記録。
講座『播磨風土記』讃容郡(全)(語釈・注釈)／逸文(語釈・注釈)／讃容郡全図

◆後記

新型コロナウイルスの蔓延で、全国の地方史研究団体も2月末頃から活動を停止しているところが多いようだ。研究会や調査のみならず、毎月のニューズレターを休刊している団体もある。図書館、文書館、博物館、美術館もサービスの一部が休止になり、非常事態宣言で休館措置が進んでいる。感染の蔓延が深刻化する現状においてはやむを得ないことであろうが、残念なのは早い段階で、自己規制する機関が多かったことである。4月15日の『朝日新聞』が声欄で図書館のウイルス対策を特集し、様々な立場の意見を掲載する中に、業務を縮小したい司書はいないとしつつも、図書館は感染拡大防止の観点からは最悪の密閉空間であるとの司書の見解があった。だが、例えば青森や鹿児島、沖縄の各県立図書館、また非常事態宣言によって全面休館を余儀なくされたが千葉県成田市立図書館は、対面サービスやお話し会、読書室の利用など濃厚接触の恐れのあるサービスは休止したが、換気や消毒液の設置、返却図書の消毒などの対応をとり、利用者には体調不良時の来館の遠慮、マスク着用、手洗いの励行、滞在時間の短縮などと呼び掛けるなどして、ぎりぎりまで開館を維持する努力を続けた。図書館が休館になったためか、皮肉なことに書店が賑わっている。同じ声欄に、休館への関心の薄さに落胆したとの意見もあった。図書館、文書館、博物館、美術館の社会的な存在意義を、私たちは自分のこととしてとらえ、声を上げていかなければならないと思う。(飯澤)

地方史情報 143 2020年(令和2年)5月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。